

**FILE No. 8**  
**保健福祉部**

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILENo. 1**にあります。  
評価一覧は、**FILENo. 1の整理番号順目次**をご覧ください。  
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
障害者施策課 (その1)	151		原爆被爆者見舞金
	241		心身障害者医療費助成等
	243		障害者福祉懇談会
	244		障害者基礎調査
	245		障害者の「てびき」の作成
	246		障害者施策課管理事務費
	247		障害者自立生活者等表彰
	248		障害者週間事業分担金 開催経費
	249		心身障害者 (児) 等ホームヘルプサービス (常勤 委託)
	250		重度脳性麻痺者等介護人派遣
	251		重度心身障害者等ホームヘルパー特別派遣
	252		心身障害者ショートステイ
	253		タクシー利用券の支給
	254		自動車燃料費助成
	255		リフト付タクシー運行委託
	256		在宅福祉サービス
	257		福祉電話の貸与
	261		三輪自転車購入費助成
	262		電話料助成
	263		重度身体障害者等緊急通報システム 火災安全システム
	264		心身障害者福祉手当等
265		おむつ支給	
266		難病患者福祉手当支給	
267		心身障害者団体運営助成	

**次のページへ**

障害者施策課 (その2)

**次の次のページへ**

障害者施設課

**FILE No. 8**  
**保健福祉部**

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILENo. 1**にあります。  
 評価一覧は、**FILENo. 1の整理番号順目次**をご覧ください。  
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
障害者施策課 (その2)	268		心身障害者団体特別行事助成 (ふれあい運動会)
	269		特別行事助成 (親子スポーツ教室)
	270		地域デイサービス事業運営助成
	271		訓練・授産事業運営助成
	272		授産事業通所者交通費及び給食費助成
	273		知的障害者グループホーム運営委託
	274		知的障害者生活ホーム運営助成
	275		財団法人杉並区障害者雇用支援事業団
	303		障害者福社会館施設維持管理
	304		障害者福社会館利用者日常生活訓練
	305		障害者福社会館各種相談
	306		障害者福社会館障害者団体等援助
	307		盲人会館事業運営
	308		盲人ガイドヘルパー派遣委託
	314		和田障害者交流館運営
	340		特別児童扶養手当事務等
	353		児童育成手当 (障害手当)
	438		精神障害者ホームヘルプサービス
	440		精神障害者通所授産事業
	441		精神障害者地域生活支援事業
	442		精神障害者グループホーム助成
443		精神障害者共同作業所助成	

[前のページへ](#)

[次のページへ](#)

[障害者施策課 \(その1\)](#)

[障害者施設課](#)

**FILE No. 8**  
**保健福祉部**

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILENo. 1**にあります。  
 評価一覧は、**FILENo. 1の整理番号順目次**をご覧ください。  
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

3 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
障害者施設課	293		知的障害者更生施設維持運営
	294		知的障害者更生施設給食運営
	295		知的障害者更生施設利用者通所バスの運行
	296		知的障害者更生施設利用者日常生活支援
	297		知的障害者更生施設各種行事等
	298		知的障害者授産施設維持運営
	299		知的障害者授産施設給食運営
	300		知的障害者授産施設利用者通所バスの運行
	301		知的障害者授産施設授産作業
	302		知的障害者授産施設クラブ活動及び行事等
	309		身体障害者通所施設維持運営
	310		身体障害者通所施設給食運営
	311		身体障害者通所施設利用者通所バスの運行
	312		身体障害者通所施設利用者日常生活支援
	313		身体障害者通所施設各種行事等

**前のページへ**

障害者施策課 (その2)

**前の前のページへ**

障害者施策課 (その1)

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		原爆被爆者見舞金				整理番号	151		枝番号		
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002	連絡先電話番号	1145		昨年度整理番号	165	
係名		障害者福祉係			上位施策名				NO		
予算事業名		原爆被爆者見舞金		コード	18800	生活の安定と自立への支援				36	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		49 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区原爆被爆者に対する見舞金支給要綱				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)						
	原爆被爆者手帳の交付を受けている人で、7月1日現在杉並区に住所を有する人。		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		被爆者に対し年1回見舞金21,000円を支給する。				活動指標名(式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区として被爆体験者を見舞うとともに、平和都市杉並の実現を誓うものである。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		被爆者の福祉の向上に貢献している。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	506	485	484	476	475			
	活動指標(2)		人	578	557	541	541	536			
	成果指標(1)		%	88	87	89	88	89			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,630	10,189	10,168	10,000	9,979	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.10	0.12	0.12	0.11			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	907	907	1,089	1,089	998		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	11,537	11,096	11,257	11,089	10,977			
	単位あたりコスト ÷		円	22,801	22,879	23,258	23,296	23,110			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	11,537	11,096	11,257	11,089	10,977				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		対象者の高齢化等により支給者数は減少傾向にある。 支給者数 平成5年度 582人 平成10年度 517人								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		見舞金の増額								
	今後の予測		対象者(被爆者)の高齢化等により徐々に減少していくと思われる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		心身障害者医療費助成等				整理番号	241		枝番号						
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002		連絡先電話番号	1147		昨年度整理番号	242				
係名		障害者福祉係				上位施策名			NO						
予算事業名		心身障害者医療費助成等		コード	26000		障害者の地域社会での自立支援			34					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区心身障害者の医療費の助成に関する条例及び同施行規則								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		身体障害者手帳1・2級(内部は3級まで)、愛の手帳1～3度、脳性麻痺、進行性筋萎縮症の障害者		(2) 東京都心身障害者の医療費に関する条例及び同施行規則								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		心身障害者の医療費の一部を助成する。「都制度」の該当者は受診時医療機関窓口での現物給付。「区制度」の対象者は申請によりその都度現金給付による助成。				活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		医療費を助成することにより、障害者保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図る。				成果指標名(式)								
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		障害者の健康と生活を守るうえで、一定の成果をあげている。				(1) 申請延べ人数 (2)								
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	5,737		4,231		4,898		4,062		4,141			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		人	4,521		3,286		2,828		1,539		1,497			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	120,060		98,208		86,833		39,226		46,332		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	2.20		2.20		2.11		2.11		1.87			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	19,961		19,961		19,148		19,148		16,970		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	140,021		118,169		105,981		58,374		63,302			
	単位あたりコスト ÷		円	24,407		27,929		21,638		14,371		15,287			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国都等からの支出金		千円	72,289		62,681		62,102		25,771		24,594		
		特定財源計 +		千円	72,289		62,681		62,102		25,771		24,594		
差引:一般財源 -		千円	67,732		55,488		43,879		32,603		38,708				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		都の制度が発足する1年前、杉並区独自の助成制度として昭和48年7月に事業開始した。そのため、都の制度より対象者等上回って実施されてきた。平成12年9月から都に準じ、所得制限の導入、新規65歳以上を除くことなど改正を図った。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		現金給付から現物給付への変更												
	今後の予測		老人保健法改正に伴い、償還払いが複雑になり事務量が増えることが予想される。ただし、区の負担額は減少する見込み。												

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉懇談会				整理番号	243		枝番号				
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091001	連絡先電話番号	内線1143		昨年度整理番号	244			
係名		管理係			上位施策名				NO				
予算事業名		障害者福祉の啓発推進		コード	26400	障害者の社会参加や就労機会の拡大				33			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		61 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区障害者福祉懇談会設置要綱						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)								
	社会福祉・障害者・養護学校等団体代表者、学識経験者、関係行政機関職員、区立小・中学校長会代表者を委員とする懇談会		(3)										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		障害者福祉に関する情報交換、意見交換等を行う。				活動指標名（式）				(1) 懇談会開催回数		
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		杉並区における障害者福祉施策の推進にあたり、その施策に関する意見を集約する。				成果指標名（式）				(1) 懇談会出席延委員数			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		障害者福祉に関するニーズの把握や関係機関等との情報交換等により、障害者の社会参加や就労機会の拡大をはじめ、杉並区の特性に適應した障害者福祉施策の展開とサービスの質の向上につながる。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		回	4	5	8	5	4					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		人	94.0	123.0	224.0	123.0	112.0					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	687	729	1,525	779	728	特記事項				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,083	4,083	4,084	4,084	4,084				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	4,770	4,812	5,609	4,863	4,812					
	単位あたりコスト ÷		円	1,192,463	962,370	701,094	972,550	1,202,938					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	4,770	4,812	5,609	4,863	4,812						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年6月の社会福祉法の改正等、これまでの社会福祉制度の枠組みが変わり、措置制度から利用者の選択・契約の制度への転換等、新たな福祉サービスの構築が求められ、また、福祉サービスに対するニーズの細分化・多様化がみられる。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		障害当事者の声を予算や施策に直接反映させてほしい等										
	今後の予測		ノーマライゼーションの理念が社会に浸透しつつある中、懇談会の場のみならず障害者のニーズを適確に捉えることのできる仕組みづくりが必要となると思われる。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者基礎調査				整理番号	244		枝番号	
所属部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091001	連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	
係名		管理係		上位施策名				NO		
予算事業名		障害者福祉の啓発推進		コード	26400	障害者の地域社会での自立支援				
事業開始年度		○ 昭和 ○ 平成		年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
事業終期		○ 無 ○ 有 平成		年度		(1) 杉並区障害者基礎調査実施要綱				
対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)						
区内の障害者等を調査対象とする実態調査		(3)								
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)					
	調査票を身体障害者手帳所持者、愛の手帳所持者、難病患者福祉手当受給者、原爆被爆者見舞金受給者、障害者福祉施設措置入所者に郵送(精神通院医療費公費負担利用者、福祉施設利用者、区立小中学校心身障害学級通学児には窓口等で任意配布)し、これに回答してもらい郵送で回収した。				(1) 調査票配布数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)					
	障害者等の生活実態、行政ニーズを把握し、これを分析することにより、今後の福祉行政推進するための基礎資料とする。				(1) 関係機関等調査報告書配付数					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				(2)						
行政計画策定等の基礎資料とすることにより、区民の実態に即した福祉施策の展開とサービス向上、ノーマライゼーション社会の実現に寄与する。										
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	枚				13913				
	活動指標(2)	枚				9212				
	成果指標(1)	冊				500				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円				7,465		特記事項		
	(内)委託費	千円				4,804				
	職員数(正規 非常勤)	人				0.75				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	6,806	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	0	0	0	14,271	0			
	単位あたりコスト ÷	円				1,026				
	財源	受益者負担分	千円							
		国都等からの支出金	千円				7,465			
		特定財源計 +	千円	0	0	0	7,465	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	6,806	0			
受益者負担比率 ÷	%				0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成12年6月の社会福祉法の改正等、これまでの社会福祉制度の枠組みが変わり、措置制度から利用者の選択・契約の制度への転換等、新たな福祉サービスの構築が求められている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	障害当事者の声を予算や施策に直接反映させてほしい等								
	今後の予測	ノーマライゼーションの理念が社会に浸透しつつある中、福祉サービスに対する行政ニーズは、今後一層細分化・多様化されると思われる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		「障害者のてびき」の作成				整理番号	245	枝番号		
所属部課名		保健福祉部障害者施策課	コード	091001	連絡先電話番号	1144	昨年度整理番号	246		
係名		管理係		上位施策名				NO		
予算事業名		障害者福祉の啓発推進		コード	26400	障害者の地域社会での自立支援				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		51 年度		根拠法令等			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 障害者基本法第5条			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)			
	区内在住の心身障害者手帳・愛の手帳を所持・取得している障害者及び関係機関（区役所内含む）						(3)			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		冊子「障害者のてびき」の編集・発行及び配布。（4年毎に手帳所持者世帯に全戸配布を行い、その間の年は新規手帳取得者及び区内転入者に窓口配布）				活動指標名（式）			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		障害者福祉関連の各種事業や行事、施設、相談窓口等の必要な情報を提供することにより、地域で自立した生活ができるようにする。				成果指標名（式）				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		障害者に提供サービスを周知することにより、障害者の自立と生活の安定に貢献する。				(1) 配布数（発行部数 - 在庫数）				
						(2)				
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	冊	2,500	2,500	17,000	17,000				
	活動指標(2)	回	1	1	1	1				
	成果指標(1)	冊	2,500	2,500	17,000	13,680				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,494	2,392	8,154	7,220	特記事項			
	(内)委託費	千円				973	成果指標(1)の13年度実績は、現在も配布中のため、9月18日現在の数字である。			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.35	0.35	0.35	0.35				
	人件費	千円	3,176	3,176	3,176	3,176				0
	職員分(超勤分含む)	千円								
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +	千円	6,670	5,568	11,330	10,396				0
	単位あたりコスト ÷	円	2,668	2,227	666	612				
	財源	千円								
	受益者負担分	千円								
国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	6,670	5,568	11,330	10,396	0				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	障害者福祉関連施策の充実、ニーズの細分化等により、情報量（事業等）が年々増加している。								
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	障害者福祉関連の事業等が1冊にまとまっているので便利、常に最新の情報がほしい等の要望がある。また、ホームヘルプ事業の普及により、事業者やヘルパー、学生からの配付希望が増えている。								
	今後の予測	IT技術等の進展により、情報機器としてのパソコン等が、障害のある人もない人も容易に利用できるようになるものと思われる。								



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者施策課管理事務費				整理番号	246		枝番号						
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091001	連絡先電話番号	1143		昨年度整理番号	247					
係名		管理係				上位施策名			NO						
予算事業名		障害者福祉の啓発推進		コード	26400	障害者の社会参加や就労機会の拡大			33						
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度	(1) 杉並区標準事務費取扱要綱									
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)										
	組織(課)		(3)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		職員が事務事業を遂行するうえで必要な電子複写機やOA機器消耗品等の経費を効率的に執行する。				活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		事務事業を円滑に行えるようにする。				成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		事務事業の効率的執行と窓口サービスの向上に寄与する。													
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		事務事業の効率的執行と窓口サービスの向上に寄与する。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		人	20		19		35		35		38			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)														
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	610		547		665		418		527		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	0.51		0.51		0.51		0.51		0.08			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,627		4,627		4,628		4,628		726		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	5,237		5,174		5,293		5,046		1,253			
	単位あたりコスト ÷		円	261,862		272,328		151,236		144,179		32,974			
	財源	受益者負担分		千円											
		国都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	5,237		5,174		5,293		5,046		1,253				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		職員一人一台のパソコン導入等、急速なオフィスOA化が進展している。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)														
	今後の予測		電子ファイルによる文書管理システムの構築等により パソコン等を利用した事務処理のOA化がさらに推進され、従来の紙ベースによる情報管理や区民サービスが変化していくと思われる。												

## 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者週間事業分担金・開催経費				整理番号	248		枝番号		
所属部課名 保健福祉部 障害者施策課		コード	091001		連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	250		
係名 管理係		上位施策名				NO					
予算事業名 障害者福祉の啓発推進		コード	26400		障害者の社会参加や就労機会の拡大				33		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 障害者週間事業「制定について」						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)						
	区民				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)						
	杉並区障害者団体連合会代表者及び区障害者関係課職員をもって実行委員会を設置し、「障害者の日」を中心として各種催しを実施する。				(1) ふれあいフェスタ」参加団体 作業所数 (2) ふれあい美術展」出展数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)							
障害のある人もない人もお互いにふれあう機会を通して、ノーマライゼーションの理念についての理解と認識を深める。また、障害者が自ら催しに参加することにより、自立と社会参加を促進する。				(1) ふれあいフェスタ」参加団体 作業所数対前年度比実績(計画)/前年度実績×100 (2) ふれあい美術展」出展数対前年度比実績(計画)/前年度実績×100							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
障害者の社会・文化活動への参加を促進するとともに、区民にノーマライゼーションの理念を振興する。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		組	36	48	50	52	60			
	活動指標(2)		点	152	176	180	155	190			
	成果指標(1)		%	87.8	133.3	104.2	108.3	115.3			
	成果指標(2)		%	102.7	115.8	102.3	88.0	122.5			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,015	1,082	1,339	826	683	特記事項		
	(内)委託費		千円	22	22	28	14	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,722	2,722	2,723	2,723	2,723		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	3,737	3,804	4,062	3,549	3,406			
	単位あたりコスト ÷		円	103,803	79,248	81,230	68,240	56,758			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	3,737	3,804	4,062	3,549	3,406				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年度から、規模縮小(セシオン杉並での土・日開催部分を土曜開催とする)・区役所ロビーにてパネル展示と啓発用品(授産施設製品)配布をする。平成13年度途中から、区役所ロビーに販売コーナーができたため、平成14年度からは啓発用品の配布を廃止した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		社会福祉協議会の事業である「うるフェスタ」と障害者週間事業である「ふれあいフェスタ」の参加団体が重複している。講演会の集客数が少ない。								
	今後の予測		ノーマライゼーションの理念の進展により 障害者週間事業といふ特別な行事を必要としない、もしくはそのあり方を見直す必要がでてくると思われる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		心身障害者（児）等ホームヘルプサービス（常勤・委託）		整理番号	249	枝番号	
所属部課名 保健福祉部 障害者施策課		コード	91001	連絡先電話番号	1144	昨年度整理番号	251
係名 管理係		上位施策名				NO	
予算事業名 心身障害者ホームヘルプサービス		コード	26600	障害者の地域社会での自立支援		34	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区心身障害者（児）等ホームヘルプサービス事業運営要綱		
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) (国)在宅福祉事業費補助金等交付要綱				
	重度の心身障害のため、独立して日常生活を営むのに支障がある心身障害者（児）等のいる世帯等。		(3) (都)心身障害者（児）ホームヘルプサービス事業費補助金交付要綱及び難病患者等ホームヘルプサービス事業費補助金交付要綱				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名（式）				
	ホームヘルパーを派遣し、食事や排泄の世話、入浴介助、買物、掃除などを行う。		(1) 派遣世帯数 (2) 延派遣回数				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名（式）					
在宅生活の維持・安定を図るとともに、心身障害者（児）の自立及び社会参加を促進する。		(1) 派遣世帯数 ÷ 利用対象者数【身体障害者手帳1・2級 + 愛の手帳(64歳以下)所持者数 - 施設入所者数】 (2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか							
心身障害者（児）の日常生活の安定に資することにより、その自立とノーマライゼーションの実現に寄与する。							

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	世帯	529	192		180				
	活動指標(2)	回	46,480	13,941		16,486				
	成果指標(1)	%	10.1	6.0		5.7				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	370,144	102,578	217,038	109,741	124,982	特記事項		
	(内)委託費	千円		102,578		109,725	124,725	本事業は、常勤ヘルパーと委託ヘルパーにより実施しているが、委託ヘルパーは事業規模の設定を計画時点では時間数としているため、活動指標の13年度、14年度の計画欄は空欄になっている。 11年度実績は65歳以上を含む。		
	職員数(正規   非常勤)	人	14.23	16.60	16.56	10.33	6.35			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	129,109	150,612	150,282	93,745			57,626
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	499,253	253,190	367,320	203,486	182,608			
	単位あたりコスト ÷	円	943,767	1,318,697		1,130,476				
	財源	受益者負担分	千円	8,452	4,486	6,661	3,948			3,553
		国 都等からの支出金	千円	262,001	93,051	163,657	108,241			96,261
		特定財源計 +	千円	270,453	97,537	170,318	112,189			99,814
差引：一般財源 -		千円	228,800	155,653	197,002	91,297	82,794			
受益者負担比率 ÷	%	1.7	1.8	1.8	1.9	1.9				

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	65歳以上及び特定疾病の障害者へのホームヘルプサービスは、本制度の利用者の60%超が介護保険制度による給付サービスに移行した。重度重複障害化及びニーズの多様化により平成12年度より24時間巡回型のホームヘルプサービスを実施している。また、派遣対象を個人と世帯とし、軽度・中度の知的障害者を加えるとともに週18時間の派遣時間の上限をなくした。
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待 要望 苦情など）	派遣時間、派遣回数の増の要望がある。また、訪問の時間が画一的で希望する時間帯に来てもらえないという声もある。
	今後の予測	平成15年度から、社会福祉法等の改正により障害者福祉サービスは、これまでの措置制度から契約を基本とした制度への移行が予定されている。

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		重度脳性麻痺者等介護人派遣				整理番号	250		枝番号		
所属部課名 保健福祉部障害者施策課		コード	091002		連絡先電話番号	1146		昨年度整理番号	252		
係名 障害者福祉係		上位施策名						NO			
予算事業名	心身障害者ホームヘルプサービス		コード	26600		障害者の地域社会での自立支援				34	
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		51 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区重度脳性麻痺者介護人派遣事業運営要綱					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区心身障害者(児)ホームヘルプサービス事業運営要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		外出の付添いやその他必要な用務を行う。				(3) 杉並区全身性障害者介護人派遣サービス運営基準				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		在宅の全身性障害者を対象として、当該障害者が推薦するヘルパーを派遣して介護サービスを提供し、地域社会での自立生活維持と社会参加の機会を図る。				活動指標名 (式)				
										(1) 脳性麻痺者介護人派遣対象者登録者数	
										(2) 全身性障害者介護人派遣対象者登録者数	
										成果指標名 (式)	
										(1) 脳性麻痺者介護人派遣回 (日) 数 ÷ 登録者数	
										(2) 全身性障害者介護人派遣回 (日) 数 ÷ 登録者数	
										意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか	
										在宅の重度障害者の自立生活の維持を図る。	
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標 (1)		55	56	57	57	57				
	活動指標 (2)		43	41	54	43	50				
	成果指標 (1)		142	137	144	144	144				
	成果指標 (2)		256	254	250	233	252				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	163,638	146,513	153,181	144,865	170,366	特記事項			
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0	0				
	職員数 (正規   非常勤)	人	0.39	0.39	0.24	0.59	0.55				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,538	3,538	2,178	5,354	4,991			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	167,176	150,051	155,359	150,219	175,357				
	単位あたりコスト ÷	円	3,039,572	2,679,491	2,725,596	2,635,425	3,076,443				
	財源	受益者負担分	千円	1,093	1,251	1,388	1,092	425			
		国 都等からの支出金	千円	162,881	141,464	53,844	104,872	98,373			
		特定財源計 +	千円	163,974	142,715	55,232	105,964	98,798			
差引 : 一般財源 -		千円	3,202	7,336	100,127	44,255	76,559				
受益者負担比率 ÷	%	0.7	0.8	0.9	0.7	0.2					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	脳性麻痺者の増加は無いが、派遣回数増加を望む声は高く、ニーズは高まっている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	対象要件の拡大 派遣回数増加									
	今後の予測	対象要件が変わらない限り 急激な増加は無いが、微増程度は見込まれる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		重度心身障害者等ホームヘルパー特別派遣				整理番号	251		枝番号					
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002		連絡先電話番号	1147		昨年度整理番号	254			
係名				障害者福祉係				上位施策名			NO			
予算事業名		心身障害者ホームヘルプサービス		コード	26600		障害者の地域社会での自立支援			34				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		49年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区重度心身障害者等ホームヘルパー特別派遣事業運営要綱					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		重度障害者及び難病患者		(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				食事の世話、身の回りの世話、医療機関との連絡、その他必要な用務のためホームヘルパーを派遣する。				活動指標名(式)				(1) 延利用者人数	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				重度障害者及び難病患者を介護している者が、病気等一時的な理由で介護できなくなった時、家政婦もしくは選定介護人を派遣して障害者の介護を行う。				成果指標名(式)				(1) 利用者数対前年比	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												在宅福祉介護の推進		
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%					
					計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)		人	535	431	432	453	447						
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	102	81	88	105	103						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,500	3,556	4,239	3,755	3,851	特記事項					
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人	0.11	0.11	0.23	0.23	0.22						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	998	998	2,087	2,087	1,997					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	5,498	4,554	6,326	5,842	5,848						
	単位あたりコスト ÷		円	10,277	10,566	14,644	12,897	13,082						
	財源	受益者負担分		千円										
		国都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	5,498	4,554	6,326	5,842	5,848							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		当初は家政婦派遣のみであったが、障害者の状態を理解している本人推薦の選定介護人制度を取り入れ、定着した事業になっている。平成元年 297人 平成5年 355人 平成13年 453人											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		休養利用の拡大。											
	今後の予測		派遣はほぼ横ばい傾向が予想される。											

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		心身障害者ショートステイ				整理番号	252		枝番号				
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002		連絡先電話番号	1145		昨年度整理番号	255		
係名		障害者福祉係				上位施策名			NO				
予算事業名		心身障害者ショートステイ		コード	26800		障害者の地域社会での自立支援			34			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区心身障害者ショートステイ事業実施要綱						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)								
	愛の手帳または身体障害者手帳を所持している、概ね5～64歳までの日常介護を必要とする在宅の障害者		(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		利用登録をした者に対し、利用期間を定め、社会福祉法人等に委託して実施している。					活動指標名 (式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		在宅の障害者が介護者の疾病等のため、介護を受けることができなくなった場合に、一時的に施設で保護し、障害者の日常生活を保持する。					成果指標名 (式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		在宅障害者と介護者の家庭生活の安定を図り、障害者福祉の推進に貢献する。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標 (1)		日	1,933	2,113	2,290		2,369		2,423			
	活動指標 (2)		床	8	8	9		9		9			
	成果指標 (1)		%	69	75	72		75		77			
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	72,213	75,471	80,878		80,871		85,209		特記事項	
	(内)委託費		千円	72,151	75,417	80,819		80,818		85,153			
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.30	0.30	0.70		0.77		0.66			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,722	2,722	6,353		6,988		5,990		
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0		0		
	総事業費 + +		千円	74,935	78,193	87,231		87,859		91,199			
	単位あたりコスト ÷		円	38,766	37,006	38,092		37,087		37,639			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0		0		
		国 都等からの支出金		千円	0	0	0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0		0		
差引：一般財源 -		千円	74,935	78,193	87,231		87,859		91,199				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		施設のハード、ソフト両面とも充実してきたが、利用者の増とともに利用形態も多様化してきている。 登録者数 平成5年度 395人 平成13年度 905人										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		利用したいときに利用できるようにしてほしい。										
	今後の予測		利用者は今後も増加していくと予測される。 平成15年度から支援費制度が始まるが、本事業を支援費制度に移行するか、移行する場合はいつのようなかたちで移行するか、早急な検討が必要である。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		タクシー利用券の支給				整理番号	253		枝番号		
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002	連絡先電話番号	1146		昨年度整理番号	256	
係名		障害者福祉係			上位施策名				NO		
予算事業名		福祉タクシー等		コード	27000	障害者の社会参加や就労機会の拡大				33	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		53年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区心身障害者福祉タクシー実施要綱				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)				
	下肢、体幹、内部障害は1～3級、視覚障害は1・2級、愛の手帳は1・2度（重度手当受給者は3度）の人						(3)				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		郵送又は窓口でタクシー券を交付する。月5,300円、3ヶ月先渡し。				活動指標名(式)				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 心身障害者で歩行困難な人を対象に、タクシー乗車料金の一部を助成することで、外出しやすい環境をつくる。						成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 障害者の生活圏の拡大を図り、社会参加の一助となる。						(1) 支払額 ÷ 受給者数 = 1人あたりの年間利用額 (2)					
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	4,915	5,177	5,522		5,272	5,735		
	活動指標(2)		千円	233,002	216,297	251,033		249,791	222,131		
	成果指標(1)		円	47,406	41,780	45,460		47,380	38,733		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	221,349	220,704	253,921		253,826	233,398	特記事項	
	(内)委託費		千円	0	0	0		0	0		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.26	1.06	0.47 0.90		0.47 0.90	0.55 0.90		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,432	9,617	4,265		4,265		4,991
		非常勤職員分		千円	0	0	2,669		2,669		2,669
	総事業費 ++		千円	232,781	230,321	260,856		260,761	241,059		
	単位あたりコスト ÷		円	47,361	44,489	47,239		49,461	42,033		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0		0
		国都等からの支出金		千円	0	0	0		0		0
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0		0
差引:一般財源 -		千円	232,781	230,321	260,856		260,761	241,059			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		利用者数、タクシー会社数も伸びており、障害者の外出手段としてニーズは高い。 対象者数 平成5年度 3,384人 平成13年度 5,272人								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		利用額を増やしてほしい。 営業区域外でも利用できるようにしてほしい。 100円券と500円券の組み合わせを変えてほしい。 有効期限を無くしてほしい。								
	今後の予測		高齢化社会に伴い、増加していくものと思われる。								

## 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自動車燃料費助成				整理番号	254		枝番号		
所属部課名		障害者施策課		コード	91002	連絡先電話番号	1146		昨年度整理番号	257	
係名		障害者福祉係			上位施策名				NO		
予算事業名		福祉タクシー等		コード	27000		障害者の社会参加や就労機会の拡大			33	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区心身障害者自動車燃料費助成要綱						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内に住所を有する心身障害者で、自動車・軽自動車税の減免をうけている人。				(2)						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 当該障害者が利用した自動車燃料費を月6リットルを上限に、1リットルにつきガソリン50円、軽油30円を助成。				活動指標名(式)						
					(1) 対象人数 (2) 支給延べリットル数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 障害者の通院、社会活動参加の交通費の負担を軽減する。				成果指標名(式)							
				(1) 実支払いリットル ÷ (対象人数 × 12ヶ月 × 62リットル) (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 障害者及びその介護者の外出の負担が軽減されている。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	人	1,196	1,153	1,214	1,230	1,145				
	活動指標(2)	リットル	539,742	532,507	505,800	526,860	484,720				
	成果指標(1)	%	53	62	56	58	57				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	27,551	27,048	27,319	26,729	24,655	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	2.04	2.04	0.70	0.70	0.59	0.70	0.55	0.70
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	18,509	18,509	6,353	5,354	4,991			
		非常勤職員分	千円	0	0	2,076	2,076	2,076			
	総事業費 ++		千円	46,060	45,557	35,748	34,159	31,722			
	単位あたりコスト ÷		円	38,512	39,512	29,446	27,772	27,705			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	46,060	45,557	35,748	34,159	31,722				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		自動車燃料の市場価格が下がっているため、1リットルあたりの受給者の負担は減っている。 対象者 平成3年度 782人 平成13年度 1,230人								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		自ら自動車を運転し通勤等をしている障害者からは、助成額をあげて欲しい旨の要望がある。								
	今後の予測		今後、自動車燃料の市場価格が上がった場合、助成額の増額要望が高まるとされる。								



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		リフト付タクシー運行委託				整理番号	255		枝番号						
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002		連絡先電話番号	1145		昨年度整理番号	258				
係名				障害者福祉係				上位施策名				NO			
予算事業名				福祉タクシー等				コード				27000			
								障害者の社会参加や就労機会の拡大				33			
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		4		年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				● 無 ○ 有		平成		年度		(1) 東京都リフト付乗用自動車運行助成事業補助要綱				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区リフト付タクシー運行事業実施要綱								
	愛の手帳又は身体障害者手帳所持者で、日常外出時に車いすを常用しているか、寝たきり状態にある人。				(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)										
	タクシー事業者にリフト付タクシー1台の運行を委託して実施している。				(1) 登録者数										
				(2)											
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)											
歩行困難な心身障害者が車いすや移動寝台に乗ったまま乗降できる車両を運行することにより、障害者の外出を容易にする。				(1) 延べ利用者数 ÷ 365日 = 1日当り利用回数											
				(2)											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
障害者の社会生活の利便性と生活圏を拡大し、障害者福祉の推進に貢献する。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	539		590		646		555		610			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		回	4		5		5		6		6			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,983		10,773		10,332		10,332		9,702		特記事項	
	(内)委託費		千円	11,983		10,773		10,332		10,332		9,702			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.10		0.10		0.10		0.10		0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	907		907		908		908		908		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	12,890		11,680		11,240		11,240		10,610			
	単位あたりコスト ÷		円	23,915		19,797		17,399		20,251		17,393			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国 都等からの支出金		千円	3,000		3,000		3,000		3,000		3,000		
		特定財源計 +		千円	3,000		3,000		3,000		3,000		3,000		
差引:一般財源 -		千円	9,890		8,680		8,240		8,240		7,610				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		登録者数 平成4年度 172人 平成10年度 491人												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		予約がなかなか取れない。												
	今後の予測		利用件数も増加し、益々必要性は高まると予測される。												

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		在宅福祉サービス				整理番号	256		枝番号		
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002	連絡先電話番号	1146		昨年度整理番号	259	
係名					障害者福祉係		上位施策名			NO	
予算事業名					巡回入浴サービス等		障害者の地域社会での自立支援			34	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		53年度		根拠法令等				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区重度心身障害者入浴サービス事業要綱 (2) 杉並区心身障害者寝具洗濯乾燥事業要綱 (3) 杉並区高齢者及び心身障害者理美容サービス事業要綱				
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)				
	意図		(対象をどのような状態にしたいのか) 障害者に快適な日常生活を過ごしてもらおうとともに、経済的負担の軽減を図る。				成果指標名(式) (1) 利用回数 ÷ 利用者数 (入浴) (2) 平均利用回数 (寝具洗濯乾燥)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 障害者の健康促進を図り、家族の負担を軽減する。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	84	85	107	75	102			
	活動指標(2)		人	203	180	192	188	192			
	成果指標(1)		回	23	13	19	14	18			
	成果指標(2)		回	206	183	195	191	194			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,127	13,719	24,360	15,572	19,891	特記事項		
	(内)委託費		千円	20,950	10,681	21,146	10,007	17,505			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.28	0.28	0.24	0.24	0.33			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,540	2,540	2,178	2,178	2,995		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	26,667	16,259	26,538	17,750	22,886			
	単位あたりコスト ÷		円	317,470	191,288	248,019	236,667	224,370			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円	240	88	174	76	126		
		特定財源計 +		千円	240	88	174	76	126		
差引：一般財源 -		千円	26,427	16,171	26,364	17,674	22,760				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度から65歳以上の新規は対象外。巡回入浴サービス受給者で、介護保険による訪問入浴介護を受けている人は月1回のサービスとなった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)										
	今後の予測		12年度は65歳以上を対象外としたため減少するが、その後は横ばい傾向になると思われる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉電話の貸与				整理番号	257		枝番号					
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002	連絡先電話番号	1147		昨年度整理番号	262				
係名		障害者福祉係			上位施策名				NO					
予算事業名		福祉機器給付・貸与等		コード	27400	障害者の地域社会での自立支援				34				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区重度心身障害者(児)福祉機器給付等事業要綱							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) _____							
	18才以上の聴覚障害者、または外出困難な身体障害者手帳1・2級の人で、前年分の所得税が非課税の世帯。						(3) _____							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		在宅の重度身体障害者(児)に対する電話の貸与。				活動指標名(式)							
							(1) 架設・休止などの取扱件数							
						(2) _____								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		在宅の重度身体障害者(児)のコミュニケーション・緊急連絡の手段が確保できる。				成果指標名(式)								
						(1) 架設・休止などの取扱件数の前年比								
						(2) _____								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		障害者の連絡手段を確保することにより健康と生活を守る。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績		年度			
指標	活動指標(1)		件	10		7		10		6		10		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	125		70		142		85		166		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	35		22		113		13		113	特記事項 新規架設のみ補助金あり(債権購入分) 単価¥85,155の1/2の額	
	(内)委託費		千円											
	職員数(正規 非常勤)		人	0.21		0.20		0.05		0.05		0.05		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,905		1,815		454		454			454
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 ++		千円	1,940		1,837		567		467		567		
	単位あたりコスト ÷		円	194,033		262,371		56,675		77,792		56,675		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0			0
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0			42
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			42
差引:一般財源 -		千円	1,940		1,837		567		467		525			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		利用休止しているものを新規の申請者へ架設している。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		多機能電話やISDNへの回線変更などの要望がある。											
	今後の予測		電話架設時にかかる経費および通信事業の競争による電話料金の低価格化・ITの進展による他の通信手段の普及											

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		三輪自転車購入費助成				整理番号	261		枝番号							
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002		連絡先電話番号	1147		昨年度整理番号	267					
係名				障害者福祉係				上位施策名				NO				
予算事業名				福祉機器給付・貸付等				コード	27400		障害者の社会参加や就労機会の拡大				33	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区身体障害者三輪自転車購入費助成要綱							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)									
	肢体不自由の身体障害者手帳所持者。ただし、自動車、原付自転車を運転できる人はのぞく。								(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				身体障害者用三輪自転車(ペダル式、電動式)の購入費の1/2を助成する。ただし、ペダル式8万円まで、電動式15万円まで。				活動指標名(式)				(1) 助成台数			
									(2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				肢体不自由者の外出を支援し、生活圏の拡大を図る。				成果指標名(式)				(1) 助成台数対前年比				
								(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか																
障害者が安心して外出し、気軽に街にでられるようになる。																
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
							計画		実績		年度					
指標	活動指標(1)		台	15		3		11		1		5				
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		%	150		20		100		33		45				
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,184		367		1,447		92		603		特記事項		
	(内)委託費		千円													
	職員数(正規 非常勤)		人	0.06		0.06		0.06		0.06		0.06				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	544		544		545		545		545			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	2,728		911		1,992		637		1,148				
	単位あたりコスト ÷		円	181,892		303,793		181,045		636,500		229,500				
	財源	受益者負担分		千円												
		国都等からの支出金		千円												
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	2,728		911		1,992		637		1,148					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		ペダル式三輪自転車から電動式三輪自転車が普及したことにより、助成対象者も電動式の助成がほとんどになった。 平成元年 1台 平成5年 3台													
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)															
	今後の予測		10,11年度は、需要が高かったが12年度は3台、13年度は1台のみである。今後も大幅な増加はないと思われる。													

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		電話料助成				整理番号	262		枝番号			
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002	連絡先電話番号	1147		昨年度整理番号	268		
係名		障害者福祉係			上位施策名				NO			
予算事業名		福祉電話等設置		コード	27600		障害者の地域社会での自立支援			34		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		52年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区身体障害者電話料助成事業運営要綱					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	18才以上で非課税世帯の重度障害者		(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		個人名義については月2,500円を3ヶ月に1度振り込む。福祉電話については回線・配線・機器使用料+60度数分をNTTに支払う。		活動指標名(式)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		外出困難な障害者に対してコミュニケーション・連絡手段の確保を図る。		成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		障害者の連絡手段を確保することにより、しょう。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		台	145	154	164	131	160				
	活動指標(2)		台	39	39	40	40	40				
	成果指標(1)		人	1,739	1,905	1,968	1,638	1,920				
	成果指標(2)		人	484	458	480	470	480				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,648	6,014	6,552	5,587	6,073	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.11	0.11	0.20	0.20	0.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	998	998	1,815	1,815	1,815			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	6,646	7,012	8,367	7,402	7,888				
	単位あたりコスト ÷		円	45,835	45,533	51,018	56,504	49,300				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			
		国都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	6,646	7,012	8,367	7,402	7,888					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		新規申請件数はほぼ横ばい。平成5年度 146台 平成12年度 154台 平成13年度 131台 高齢者電話料が平成12年3月で廃止になり 障害者への流入があったため12年度は、対象者が若干増加した。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		NTT以外にも、ケーブルテレビを使った電話料も助成してほしい。									
	今後の予測		マイライン制度開始により 通話料低下や選択する電話会社によって通話料格差が生じている。助成金額も、NTTの料金にあわせて低下していく。(区長名義の福祉電話が、NTT契約のため) 今後一年位は料金現状予定 (NTT確認)									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		重度身体障害者等緊急通報システム・火災安全システム				整理番号	263		枝番号						
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002	連絡先電話番号	1146		昨年度整理番号	270					
係名		障害者福祉係			上位施策名				NO						
予算事業名		重度身体障害者等緊急通報システム		コード	27800		障害者の地域社会での自立支援				34				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		3 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区重度身体障害者等緊急通報システム・火災安全システム事業運営要綱								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 東京都重度身体障害者等緊急通報システム事業実施要綱										
	重度の手帳所持者、難病患者（都対象者）および区長が必要と認める18才以上の独居者		(3) 東京都重度心身障害者火災安全システム事業実施要綱												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名（式）												
独居の障害者等に緊急通報機器を設置することにより、非常時に協力員の協力を得て、救命活動を行う。		(1) 緊急通報システム 新規設置台数													
		(2) 火災安全システム新規設置台数													
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名（式）													
一人暮らしの障害者等の緊急時の対応		(1) 緊急通報システム設置台数累計													
		(2) 火災安全システム設置台数累計													
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
緊急通報機器等の設置により速やかに救命活動が行われる。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		台	10		9		27		14		8			
	活動指標(2)					2		3		0		3			
	成果指標(1)		台	52		57		57		56		62			
	成果指標(2)					2		5		2		5			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,376		2,330		4,902		2,869		3,153		特記事項	
	(内)委託費		千円	438		469		498		619		699			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.33		0.33		0.24		0.24		0.22			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,994		2,994		2,178		2,178		1,997		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	5,370		5,324		7,080		5,047		5,150			
	単位あたりコスト ÷		円	537,009		591,566		262,222		360,500		643,688			
	財源	受益者負担分		千円			0		0		0		0		
		国 都等からの支出金		千円			1,666		2,569		1,911		1,844		
		特定財源計 +		千円	0		1,666		2,569		1,911		1,844		
差引:一般財源 -		千円	5,370		3,658		4,511		3,136		3,306				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度より火災安全システムの設置を開始した。 平成5年度 25台 平成13年度 56台												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		制度利用の条件である協力員を探すのが大変なので、協力員がいなくても設置できるようにしてほしい。新しい通信機器を利用することによりシステムの利便性を高めてほしい。												
	今後の予測		緩やかな増加が見込まれる。												

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		心身障害者福祉手当等				整理番号	264		枝番号		
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002	連絡先電話番号	1147		昨年度整理番号	271	
係名		障害者福祉係			上位施策名				NO		
予算事業名		心身障害者福祉手当等支給		コード	28000		障害者の地域社会での自立支援			34	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区心身障害者福祉手当条例、同施行規則				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区介護手当条例、同施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(1) 身体障害者手帳1～3級 愛の手帳1～4度 脳性麻痺、進行性筋萎縮症を有する者 (2) 重度障害者を常時介護している者		(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(1) 心身障害者福祉手当の支給 月17,000円、月11,500円 (2) 介護手当 月10,500円		活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		(1) 心身障害者福祉手当を支給することにより、対象者の福祉の増進を図る。 (2) 重度障害者を常時介護している介護者の精神的、経済的負担の軽減を図る。		成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		(1) 障害者の自立を支援する (2) 介護者の精神的慰労及び経済的援助		(1) 総支給額 (2)							
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	5,981	5,358	5,508	5,309	5,348			
	活動指標(2)					39	35	38			
	成果指標(1)		千円	1,094,817	1,073,153	1,013,855	995,541	990,732			
	成果指標(2)					4,914	4,253	4,788			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,234,780	1,219,829	1,019,808	996,204	991,669	特記事項		
	(内)委託費		千円						評価対象事業内の事業の組み合わせ変更 平成11～12年度(1)心身障害者福祉手当(2)特別障害者手当、特別障害児手当、福祉手当(経過措置) 平成13年度～(1)心身障害者福祉手当(2)介護手当		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.65	1.65	0.93	0.93	0.99			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	14,970	14,970	8,440	8,440	8,984			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	1,249,750	1,234,799	1,028,248	1,004,644	1,000,653			
	単位あたりコスト ÷		円	208,953	230,459	186,683	189,234	187,108			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0	
差引:一般財源 -		千円	1,249,750	1,234,799	1,028,248	1,004,644	1,000,653				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		(1)心身障害者福祉手当 昭和46年4月開始 (2)介護手当 昭和48年4月開始 (1)(2)とも平成12年8月に所得制限及び65歳新規の制限を導入した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		65歳以上で手帳を新規取得した障害者から手当の支給。介護の実態に見合った手当て額の引き上げ。								
	今後の予測		(1)受給者は、平成12年度の制度改正で一定の制限が設けられたため横這い傾向であるが、今後は、平成15年3月で終了になる老人福祉手当からの移行者約110人が見込まれることもあり 緩やかな増加になると思われる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		おむつ支給				整理番号	265		枝番号				
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	91002		連絡先電話番号	1147		昨年度整理番号	273		
係名		障害者福祉係				上位施策名				NO			
予算事業名		心身障害者福祉手当等支給		コード	28000		障害者の地域社会での自立支援				34		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区心身障害者おむつ支給要綱						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		常時おむつを使用している障害者		(2)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		契約業者が指定の取り扱い製品を申請のとおり障害者宅等へ月一回、配送する。				活動指標名 (式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		障害者のおむつを購入する手間や、障害者の経済的負担を軽減する。障害者の衛生面、健康面の増進をはかる。				成果指標名 (式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
障害者の福祉の増進													
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
					計画	実績	計画	年度					
指標	活動指標 (1)		人	266	293	275	280						
	活動指標 (2)												
	成果指標 (1)		千円	75	96	62	86						
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	20,009	28,128	17,147	24,192	特記事項					
	(内)委託費		千円		0	17,147	24,192						
	職員数 (正規   非常勤)		人		0.22	0.35	0.35	0.33					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	1,996	3,176	3,176	2,995				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	22,005	31,304	20,323	27,187					
	単位あたりコスト ÷		円		82,726	106,840	73,903	97,096					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	22,005	31,304	20,323	27,187						
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和46年からおむつ代として現金支給(平成11年度月9,000円)であったが平成12年度から現物給付に改正した。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		おむつの種類によっては、市価より割高になるものもあり是正すべきである。										
	今後の予測		おむつ製品は年度途中の規格変更が生じることがあり、年間を通して、同様の提供が難しくなる。										



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		難病患者福祉手当支給				整理番号	266		枝番号						
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091002		連絡先電話番号	1146		昨年度整理番号	274				
係名		障害者福祉係				上位施策名			NO						
予算事業名		難病患者福祉手当支給		コード	28200		障害者の地域社会での自立支援			34					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		52 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 難病患者福祉手当条例及び同施行規則								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		条例で定める難病患者		(2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		難病患者に手当を支給する。				活動指標名 (式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		難病患者の自立生活援助。				成果指標名 (式)								
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		難病患者の自立の促進。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標 (1)		人	3,482		2,957		2,929		2,914		3,029			
	活動指標 (2)														
	成果指標 (1)		千円	687,043		640,910		586,803		572,963		599,742			
	成果指標 (2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	687,274		641,108		586,926		573,087		599,944		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.57		0.57		0.47		0.47		0.55			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,172		5,172		4,265		4,265		4,991		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 + +		千円	692,446		646,280		591,191		577,352		604,935			
	単位あたりコスト ÷		円	198,864		218,559		201,841		198,130		199,715			
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	692,446		646,280		591,191		577,352		604,935				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和52年4月開始。平成12年8月 所得制限と年齢制限(新規65歳以上)を導入。平成14年10月 対象疾病のうち肝硬変、ヘパトM、慢性肝炎を除外。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		2疾病を対象除外したことにより受給できなくなった難病患者の代替措置 経過措置の要望が寄せられている。												
	今後の予測		平成14年10月の2疾病の除外により 受給者は減少していくものと思われる。												

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		心身障害者団体運営助成				整理番号	267		枝番号			
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091001	連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	275		
係名		管理係			上位施策名				NO			
予算事業名		心身障害者団体		コード	28400	障害者の社会参加や就労機会の拡大				33		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		49年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 障害者基本法第3条、第4条					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区心身障害者団体助成要綱							
	区内の心身障害者団体		(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		団体の運営に係る経費 (運営事務経費、宿泊訓練等の事務経費、レクリエーション活動経費、研究会活動経費)の一部を助成する。		活動指標名 (式)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		団体の活動に必要な経費を助成することにより、団体運営の安定に資する。		成果指標名 (式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		心身障害者団体の運営の安定化を図ることにより、心身障害者の積極的な社会活動への参加を促進し、障害者の自立及びノーマライゼーションの実現を図る。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画		実績		年度	
指標	活動指標 (1)		団体	19	18	19	19	19				
	活動指標 (2)											
	成果指標 (1)		日	125	125	158						
	成果指標 (2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,814	15,335	14,238	13,937	14,718	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537	4,537	4,538	4,538	4,538			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	20,351	19,872	18,776	18,475	19,256				
	単位あたりコスト ÷		円	1,071,079	1,103,972	988,184	972,342	1,013,447				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	20,351	19,872	18,776	18,475	19,256					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		心身障害者団体 (助成団体)は、この間 10団体から19団体に増えている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		区予算の削減等により 助成配分額が減少傾向にあるため、現状維持を望む声がある。									
	今後の予測		障害の多様化等により新規団体が増加する可能性がある。その反面、高齢化により会員数の減少が続く団体もある。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		心身障害者団体特別行事助成（ふれあい運動会）				整理番号	268		枝番号				
所属部課名 保健福祉部 障害者施策課		コード	091001		連絡先電話番号	内線 1144		昨年度整理番号	276				
係名 管理					上位施策名				NO				
予算事業名		心身障害者団体		コード	28400		障害者の社会参加や就労機会の拡大						
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 39 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) ふれあい運動会実施要綱								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 ふれあい運動会運営委員会				(2)								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） ふれあい運動会運営委員会を設置し、杉並区が事務局として参加する。杉並区、杉並区教育委員会、障害者団体連合会の共催及び社会福祉協議会の後援等による分担金を経費にあて、中学生他多数のボランティアの協力を得て、運動会を実施する。				活動指標名（式）								
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） ふれあい運動会運営委員会を設置し、杉並区が事務局として参加する。杉並区、杉並区教育委員会、障害者団体連合会の共催及び社会福祉協議会の後援等による分担金を経費にあて、中学生他多数のボランティアの協力を得て、運動会を実施する。				成果指標名（式）								
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 障害者福祉の向上に貢献している。				(1) 中学生ボランティア参加者数 (2) 運動会参加者増加率								
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)		人	800		900		900		1,000		1,000	
	活動指標(2)		団体	21		23		23		23		23	
	成果指標(1)		人	180		119		119		156		130	
	成果指標(2)		%	114.3		112.5		100.0		111.1		100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	900		900		900		900		850	特記事項
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0	
	職員数(正規   非常勤)		人	0.87	0.00	0.87	0.00	0.77	0.00	0.77	0.00	0.77	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,894		7,894		6,988		6,988		6,988
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0
	総事業費 + +		千円	8,794		8,794		7,888		7,888		7,838	
	単位あたりコスト ÷		円	10,992		9,771		8,764		7,888		7,838	
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0
		国 都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0
差引：一般財源 -		千円	8,794		8,794		7,888		7,888		7,838		
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		当初は、身体障害者の運動会として実施。S61年杉並区が10月を障害者福祉月間と定め月間行事の一環として実施。S62年ふれあい運動会の名称で幅広く区民に参加を呼びかけた。H4年運営委員会制度で試行し翌年から本格実施し現在に至っている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		障害のある人とない人が一緒に参加し、「相互のふれあい」と「相互理解」を促進しているのは、この運動会だけである。中学生ボランティアも多数参加し、福祉教育及びボランティア育成の手がかりとしても成すところ大きい。										
	今後の予測		今後も運営委員会形式で、多くのボランティアの協力を得て、事業を実施する。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特別行事助成（親子スポーツ教室）				整理番号	269		枝番号		
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	91001	連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	277	
係名		管理係		上位施策名				NO			
予算事業名		心身障害者団体		コード	28400	障害者の社会参加や就労機会の拡大				33	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 障害者基本法第3条、第4条				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内の心身障害者団体		(2) 杉並区心身障害者団体助成要綱				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		心身障害者団体が実施するスポーツ・レクリエーション等障害者の生涯学習事業にかかる経費の一部を助成する。				(3)				
	活動指標名（式）						(1) 助成団体数				
							(2)				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		心身障害者団体が実施する生涯学習事業の実施を支援することにより、障害者の自立と社会参加を促進する。				成果指標名（式）					
						(1) 参加者数（延べ親子）					
						(2) 行事開催日数					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
障害者の健康の増進や区民との交流に寄与し、障害者の自立及びノーマライゼーションの実現を図る。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		14年度	年度			
指標	活動指標(1)	団体	1	1	1	1	1				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	組	381	316	440	384	300				
	成果指標(2)	回	20	20	20	20	20				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	330	280	280	280	260	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.01	0.01	0.01	0.11	0.11			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	91	91	91	998	998			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	421	371	371	1,278	1,258			
	単位あたりコスト ÷		円	420,730	370,730	370,750	1,278,250	1,258,250			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	421	371	371	1,278	1,258				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		この事業については昭和57年度より助成しているが、現在の助成対象は親子スポーツ教室のみとなった。平成9年度まではふれあい美術展・ふれあい演芸大会（ともに障害者週間事業に移行）、平成10年度までふれあい運動会（11年度より分担金に変更）にも助成されていた。								
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		スペシャルオリンピックス等障害者の生涯学習活動の拡充を望む声がある。								
	今後の予測		ノーマライゼーションの理念の実現により、障害者の生涯学習活動に対するニーズは増加するものと思われる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域デイサービス事業運営助成				整理番号	270		枝番号				
所属部課名 保健福祉部 障害者施策課		コード	091001		連絡先電話番号	内線 1144		昨年度整理番号	278				
係名 管理係		上位施策名						NO					
予算事業名	通所訓練・授産事業等		コード	28600		障害者の社会参加や就労機会の拡大				33			
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 障害者基本法第10条の二、同法第18条							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区心身障害者(児)地域デイサービス事業要綱									
	原則として都内在宅の心身障害者(児)に対する創作活動・訓練あるいは学齢児を主たる対象とした集団活動・訓練を行う団体					(3) 杉並区心身障害者通所訓練 授産事業等運営費補助金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名(式)							
	杉並区心身障害者(児)地域デイサービス事業実施団体に対し、年2回、通所者の利用状況等による交付基準に従い、指導員人件費等の事業の運営に必要な経費の一部を助成する。					(1) 通所者数(登録者数) (2) 補助団体数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名(式)								
心身障害者(児)の福祉の向上を図る上で適切な訓練指導を行えるようにする。					(1) 年間延通所者数 (2) 年間延開所日数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
心身障害者(児)の福祉の向上に貢献している。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)		人	122	149	137	147	147					
	活動指標(2)		団体	7	9	8	8	10					
	成果指標(1)		人	8,750	10,742	11,394	10,417	13,177					
	成果指標(2)		日	1,415	1,835	1,763	1,777	2,365					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	46,826	57,434	59,258	56,480	71,821	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0	都区財調算入事業である。				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.00	0.21	0.00	0.21	0.00	0.26	0.00	0.26	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,722	1,905	1,906	2,360	2,360				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	49,548	59,339	61,164	58,840	74,181					
	単位あたりコスト ÷		円	406,130	398,251	446,451	400,269	504,629					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0				
		国 都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	49,548	59,339	61,164	58,840	74,181						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		通所希望者の増加に伴い、H9年度5団体、H10年度7団体、H12年度9団体と助成団体数を増やしてきた。H13年度は地域デイサービス事業から授産事業に事業種別を変更した団体が1団体あったため、8団体に減少したが、平成14年度で新たに2団体増加し10団体となった。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		学童クラブ利用者も当事業の利用可能者とし、学童クラブへの送迎のみを行う場合も訓練の一部と位置付け補助対象とすること、当事業内の複数施設を利用する場合、各々の施設で補助対象とすること、更生施設や授産施設等の他の社会福祉施設利用者も社会福祉施設開所時間外は、当事業の補助対象利用者として利用を可能にすること、障害児を対象とした施設を新規に開設すること、等の要望がある。										
	今後の予測		学童クラブ利用者が増加することに伴い、学童クラブへの送迎や療育等の訓練を行うために当事業の利用を希望するケースが増えること、また、学童クラブ利用者が小学校を卒業した後でも中学生、高校生の放課後対策として当事業を利用する可能性は増加するものと思われる。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		訓練・授産事業運営助成				整理番号	271		枝番号
所属部課名 保健福祉部 障害者施策課		コード	091001		連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	279
係名 管理係		上位施策名						NO	
予算事業名 通所訓練・授産事業等		コード	28600		障害者の社会参加や就労機会の拡大				33
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 障害者基本法第10条の二、同法第18条			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区心身障害者通所訓練・授産事業実施要綱					
	原則として都内に居住する一般就労が困難な在宅の心身障害者に対し通所の場を設け、必要な訓練・授産指導を行う団体					(3) 杉並区心身障害者通所訓練・授産事業等運営費補助金交付要綱			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並区心身障害者通所訓練・授産事業実施団体に対し、年2回、通所者の利用状況等による交付基準に従い、指導員人件費等事業の運営に必要な経費の一部を助成する。					活動指標名 (式) (1) 通所者数 (登録者数) (2) 補助団体数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 心身障害者の社会的自立の促進を図る上で適切な訓練・授産指導を行う実施団体とする。					成果指標名 (式) (1) 年間延通所者数 (2) 年間延開所日数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 在宅の心身障害者に対する就労機会の拡大に貢献している。									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%
				計画	実績		16	年度	
指標	活動指標 (1)	人	201	202	210	208	210	222	93.7
	活動指標 (2)	団体	13	13	14	14	14	15	93.3
	成果指標 (1)	人	37,529	40,435	47,192	41,483	47,045	49,949	83.1
	成果指標 (2)	日	3,013	3,127	3,386	3,381	3,389	3,631	93.1
総事業費・コスト把握	事業費	千円	193,206	200,998	230,604	218,154	235,962	特記事項 都支出金対象団体 9団体 心身障害者(児)通所訓練等事業運営費補助金 = 12年度まで 3団体、13年度に4団体に増加した。 小規模通所授産施設事業運営費補助金 = 13年度1団体(6箇月助成)助成開始、14年度5団体(12箇月助成1団体、6箇月助成4団体)に増加した。 都区財調算入対象団体 5団体	
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0		
	職員数(正規   非常勤)	人	0.30   0.00	0.21   0.00	0.21   0.00	0.26   0.00	0.26   0.00		
	人件費	千円	2,722	1,905	1,906	2,360	2,360		
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	195,928	202,903	232,510	220,514	238,322		
	単位あたりコスト ÷	円	974,766	1,004,472	1,107,189	1,060,161	1,134,864		
	財源	千円	0	0	0	0	0		
	国 都等からの支出金	千円	41,157	28,575	34,884	35,131	59,772		
	特定財源計 +	千円	41,157	28,575	34,884	35,131	59,772		
差引:一般財源 -	千円	154,771	174,328	197,626	185,383	178,550			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	通所希望者が多く、需要が高いため助成団体数も増加を続け、平成9年度と平成13年度を比較すると5団体の増加である。平成13年度、小規模通所授産施設の法内化に伴い運営費等の国庫補助が創設された。これを受け、当区において運営費を助成している団体のうち、平成13年10月に1団体、新たに平成14年10月に4団体のあわせて5団体が東京都小規模通所授産施設事業運営費補助金対象団体となった。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	公立作業所に比べ民間小規模作業所は、作業内容が多種にわたることや、大人数になじまない障害者から人気が集集中であり、新たに当事業施設の開設を要望する相談が相次いでいる。							
	今後の予測	定年制度がない為に年齢による退所者がなく、企業等からリストラされる者、養護学校等卒業者や中途障害者受け入れのために新規作業所の開設が必要であることが予測される。							

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		授産事業通所者交通費及び給食費助成			整理番号	272	枝番号				
所属部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091001	連絡先電話番号	1144	昨年度整理番号	280		
係名				管理係		上位施策名			NO		
予算事業名				通所訓練・授産事業等		コード	28600		障害者の社会参加や就労機会の拡大	33	
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		4 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 障害者基本法第10条の二、同法第18条			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区心身障害者通所訓練・授産事業実施要綱					
	杉並区心身障害者通所訓練・授産事業実施要綱に基づき社会福祉法人等が運営する施設に通所する人			(3) 杉並区心身障害者通所訓練 授産事業に係る通所者交通費等助成要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)						
年4回、通所者から委任を受けた施設代表者を通して、通所者に交通費及び給食費を助成する。				(1) 交通費助成者数							
				(2) 給食費助成者数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)							
通所者の負担の軽減を図る。				(1) 交通費助成者増加率							
				(2) 給食費助成者増加率							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
心身障害者の福祉の向上に貢献している。											

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%
				計画	実績		年度	年度	
指標	活動指標(1)	人	156	148	159	157	157		
	活動指標(2)	人	201	202	210	207	210		
	成果指標(1)	%	131	95	107	99	100		
	成果指標(2)	%	123	100	104	99	101		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	42,290	42,257	49,123	44,022	35,324	特記事項	
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0		
	職員数(正規 非常勤)	人	0.25   0.00	0.21   0.00	0.21   0.00	0.22   0.00	0.22   0.00		
	人件費	千円	2,268	1,905	1,906	1,997	1,997		
	職員分(超勤分含む)	千円							
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	44,558	44,162	51,029	46,019	37,321		
	単位あたりコスト ÷	円	285,630	298,394	320,936	293,111	237,710		
	財源	千円							
	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0		
国 都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0			
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -	千円	44,558	44,162	51,029	46,019	37,321			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	施設設置数の増加に伴い、助成対象者が増えている。経費の削減を図るため、給食費助成単価(1食につき)を平成12年度に770円から700円に引き下げ、平成14年度に400円に引き下げた。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	給食費助成額の1食単価が700円から400円に大幅に削減された。通所者からは区の財政上やむおえないことと理解するが、400円の助成を維持するよう要望がある。
	今後の予測	今後も施設設置数が増加し、通所者が増えるに伴い給食費助成額が増大する。

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者グループホーム運営委託				整理番号	273		枝番号							
所属部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091001		連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	281					
係名				管理係		上位施策名				NO						
予算事業名				知的障害者グループホーム		コード	28800		障害者の地域社会での自立支援							
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		59 年度		根拠法令等							
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 障害者基本法第10条の二、同法第18条 (2) 杉並区知的障害者グループホーム運営要綱 (3)							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区内に1年以上住所を有する15歳以上の知的障害者で授産施設等に通所している者又は3ヶ月以内に通所を開始する人											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				知的障害者グループホームを設置し、運営を社会福祉法人に委託する。								活動指標名(式)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				授産施設等に通所している知的障害者の地域社会における自立生活を助長するため、生活訓練の場を提供し、日常生活における援護及び指導を行う。								成果指標名(式)			
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				知的障害者の社会的自立を助長する。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
							計画		実績		16 年度					
指標	活動指標(1)		人	15		15		15		15		18		83.3		
	活動指標(2)		所	5		5		5		5		6		83.3		
	成果指標(1)		%	266.7		266.7				480.0		100.0		480.0		
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	39,882		41,088		40,389		40,049		40,805		特記事項		
	(内)委託費		千円	39,871		41,076		40,377		40,037		40,793				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.00	0.16	0.00	0.16	0.00	0.16	0.22	0.22	0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,629		1,452		1,452		1,452		1,997			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		653		0			
	総事業費 ++		千円	43,511		42,540		41,841		42,154		42,802				
	単位あたりコスト ÷		円	2,900,747		2,835,979		2,789,400		2,810,235		2,853,433				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0			
		国都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0			
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	43,511		42,540		41,841		42,154		42,802					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		需要に基づき設置数を増やしてきた。S59.4、S61.4、H1.4、H3.1、H4.11に1所ずつ開所を行ってきた。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		グループホームの利用期間は、原則として3年間としているが、短期間の利用もできるようにしたい。													
	今後の予測		区型生活ホーム、都型生活寮及び国型グループホームは、知的障害者の生活の場(終の棲家)として設置されているが、これとは別に自立生活を助長するための生活訓練の場が必要であり、今後も区型グループホームがそれを担って行く必要がある。													



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者生活ホーム運営助成					整理番号	274		枝番号					
所属部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	091001		連絡先電話番号	1144		昨年度整理番号	282				
係名		管理係			上位施策名				NO						
予算事業名		知的障害者生活ホーム		コード	28820		障害者の地域社会での自立支援				34				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		9 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 障害者基本法第10条の2第1項、同法第22条								
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区知的障害者生活ホーム運営費補助金交付要綱										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		知的障害者が共同で自立した生活をするため、民間住宅等を活用して知的障害者生活ホームを設置・運営する社会福祉法人等に対し運営費等を助成する。				(3) 杉並区知的障害者生活ホーム設置運営基準								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		知的障害者が共同で自立した生活をするため、民間住宅等を活用して知的障害者生活ホームを設置・運営する社会福祉法人等に対し運営費等を助成する。				活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		社会福祉法人等への運営費等を助成することにより、知的障害者の生活の場を確保するとともに日常生活の援助を行う。				成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		住み慣れたまちで安心して暮らせる住居を提供することにより、知的障害者の自立が図られる。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	8		8		8		8					
	活動指標(2)		所	2		2		2		2					
	成果指標(1)		人	8		8		8		8					
	成果指標(2)		所	2		2		2		2					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,507		15,782		16,408		16,408		15,808		特記事項	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0		平成13年10月に国グループホームの指定を受け、国庫補助の対象施設となった。13年度は6箇月間助成、14年度は12箇月間助成	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815		726		726		1,815		1,815		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	18,322		16,508		17,134		18,223		17,623			
	単位あたりコスト ÷		円	2,290,200		2,063,480		2,141,750		2,277,875		2,202,875			
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円	0		0		0		1,754		3,574		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		1,754		3,574		
差引:一般財源 -		千円	18,322		16,508		17,134		16,469		14,049				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		生活ホームは平成9年10月に開設し、定員を平成9年10月に4人、平成10年10月に6人、平成11年4月に8人と増員してきた。平成13年10月に国グループホームの指定を受け、国庫補助の対象施設となった。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		都型生活寮は区の生活ホームと比べ利用者負担額が高く、福祉的就労者が利用することが難しいので区の生活ホームを存続させて欲しいという要望がある。												
	今後の予測		東京都は、各区に都型生活寮の設置を推進しその地域の住民を優先して入居させるという方針を持っており、杉並区居住者の都型生活寮利用の増加が予想される。												

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		財団法人杉並区障害者雇用支援事業団				整理番号	275		枝番号				
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	091001		連絡先電話番号	内線1143		昨年度整理番号	284		
係名		管理係				上位施策名			NO				
予算事業名		財団法人杉並区障害者雇用支援事業団				コード	29030		障害者の社会参加や就労機会の拡大			33	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		10 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区財団法人に対する助成に関する条例及び同施行規則						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		財団法人杉並区障害者雇用支援事業団		(2) 杉並区財団法人に対する補助金交付要綱						
							(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		財団法人杉並区障害者雇用支援事業団に対して必要な経費を助成する。				活動指標名(式)						
						(1) 雇用支援対象者数							
						(2) 就労個人会員数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		財団法人杉並区障害者雇用支援事業団が、その設立目的である障害者の雇用支援に関する事業を活発に行うことができるよう、財団運営の安定に資する。				成果指標名(式)							
						(1) 就職率 (就職者数 ÷ 雇用支援対象者数)							
						(2) 月平均就労個人会員一人あたり就労時間 (年間総就労時間数 ÷ 就労個人会員数 ÷ 12月)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
財団の安定した経営により、障害者の就労機会の拡大を促進し、職業を通じて障害者が社会参加することにより、ノーマライゼーションの実現に寄与している。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%
							計画		実績		15年度		
指標	活動指標(1)		人	12	13	13	10	15	15	66.7			
	活動指標(2)		人	41	41	50	43	45	45	95.6			
	成果指標(1)		%	41.6	46.2	70.0	40.0	50.0	50.0	80.0			
	成果指標(2)		時間	70.1	72.5	61.7	65.7	65.0	65.0	101.1			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	86,130	92,100	90,854	78,626	85,266	特記事項				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規   非常勤)		人	0.38	0.38	0.38	0.32	0.32					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,448	3,448	3,449	2,904	2,904					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	89,578	95,548	94,303	81,530	88,170					
	単位あたりコスト ÷		円	7,464,812	7,349,826	7,254,038	8,153,000	5,878,000					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	89,578	95,548	94,303	81,530	88,170						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		雇用問題そのものはハローワークに代表されるように国の所管であるが、近年、地方公共団体においても積極的に障害者福祉の一環としての雇用支援を行う流れとなっている。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		就労意思や希望を持ちながらも就職の困難な障害者に対する就労支援を求める要望等										
	今後の予測		ノーマライゼーションの実現に向けて、障害者の経済的・社会的自立のための重要な施策の一つとして、一般就労支援の充実に対するニーズが高まると思われる。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉会館施設維持管理					整理番号	303		枝番号								
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	91008		連絡先電話番号	4322		昨年度整理番号	318							
係名				障害者福祉会館				上位施策名			NO							
予算事業名				障害者福祉会館				コード			31400							
								障害者の社会参加や就労機会の拡大			33							
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		57 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 身体障害者福祉法									
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		障害者福祉会館利用者（心身障害者及び家族、介助者、ボランティア、障害者団体、ボランティア団体）				(2) 身体障害者福祉センターの設置運営要綱							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				障害者団体等に施設（8部屋）及び備品を無償で貸出すとともに、障害者等を対象とした講習会等（4講習会、2講演会、3自立支援セミナー、在宅障害者交流事業「ふれあい広場」=週3日）				活動指標名（式）				(1) 施設（部屋）利用回数（午前 午後 夜間を1単位）					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				障害者福祉会館の会議室等を障害者及び障害者団体に提供することにより障害者の活動が広がる。また在宅交流事業や講習会を開催することにより、日常生活の充実や障害者同士の交流の場が確保され、障害者の自立と社会参加が促進される。				成果指標名（式）				(1) 利用率(会議室、活動室等部屋の充足率、利用回数÷年間利用可能室数)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				障害者団体等の活動の場を提供することにより、団体等の活動を活発化させ、障害者の社会参加を促し、在宅交流事業や講習会を通じて障害者の日常生活の充実と自立への促進を図る。				(2) 在宅交流事業登録者数及び講習会受講者数				(2) (在宅交流事業登録者数+講習会受講者数)÷(在宅交流事業登録希望者数+講習会受講希望者数)						
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度計画		13年度実績		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		回	4162		4444		4621		4,751		4,990		5,691		83.5		
	活動指標(2)		人	502		430		331		391		411		436		89.7		
	成果指標(1)		%	57		45.4		55		55		57		65		84.6		
	成果指標(2)		%	58		75.4		80		76		80		85		89.4		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	52,736		53,800		51,318		47,948		50,391		特記事項				
	(内)委託費		千円	44,588		40,487		39,796		38,547		39,811		活動指標(2)及び成果指標(2)について、平成13年度から手話・点字講習会以外運営協議会の補助事業に移行した。特定財源について、平成13年度より事業費補助方式となったため大幅減となった。				
	職員数(正規 非常勤)		人	5.43	0.53	4.75	0.58	4.00	0.58	4.21	0.58	4.40	0.58					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	49,266		43,097		36,300		38,206		39,930					
		非常勤職員分		千円	1,558		1,705		1,720		1,720		1,720					
	総事業費 ++		千円	103,560		98,601		89,338		87,874		92,041						
	単位あたりコスト ÷		円	24,882		22,188		19,333		18,496		18,445						
	財源	受益者負担分		千円	325		410		319		425		414					
		国都等からの支出金		千円	5,251		8,088		6,089		2,981		4,859					
		特定財源計 +		千円	5,576		8,498		6,408		3,406		5,273					
差引:一般財源 -		千円	97,984		90,103		82,930		84,468		86,768							
受益者負担比率 ÷		%	0.3		0.4		0.4		0.5		0.4							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		訓練室の廃止及び他施設への移行に伴い、貸し出し部屋数が増加した。(昭和57年5部屋、平成6年度7部屋、平成12年度8部屋)在宅交流事業は、介護保険が施行されたので、12年度から介護保険サービス受給者を対象者からはずした。また、福祉基礎構造改革により、障害者地域自立生活支援センターの設置や利用者契約制度に沿った利用方法の確立を準備している。(15年度実施予定)															
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		障害者団体や利用者等から、広い部屋の貸し出しを望む声や会館施設及び設置備品等の老朽化を指摘された。また、在宅交流事業は、日常生活の充実に役立つとともに家族の介護負担の軽減につながっており、好意的評価を受けている。															
	今後の予測		平成15年度の障害者地域生活自立支援センター開設につき、相談室の設置が必要である。また、会館施設は老朽化が進み、現在応急修理で使用しているものが多く、今後も施設維持管理に係る比重は高くなるものと思われる。															

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉会館利用者日常生活訓練				整理番号	304		枝番号			
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	91008	連絡先電話番号	4322		昨年度整理番号	319		
係名		障害者福祉会館			上位施策名				NO			
予算事業名		障害者福祉会館		コード	31400		障害者の地域社会での自立支援			34		
事務事業の概要	事業開始年度		● 昭和 ○ 平成		57 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 身体障害者福祉法					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 東京と身体障害者福祉デイサービス事業等運営要綱							
	18歳以上おおむね65歳以下の心身及びコミュニケーション機能に障害のある区民		(3) 杉並区立障害者福祉会館及び盲人会館条例・同施行規則									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)									
	原則として、10名1グループとし年2回募集を行う。前半6ヶ月を週2回、後半6ヶ月を週1回、その他必要に応じて個別の訪問等で生活リハビリの訓練を行う。		(1) 機能訓練を受けた延人数 (2) 訓練延回数 (機能訓練事業に言語訓練を含めたため、日数ではなく回数に変更した)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)										
家庭や地域生活の中で自立した生活や社会参加(就労・学習・余暇活動等)が可能となる。		(1) 参加率(機能訓練に実際に参加した回数÷機能訓練の参加可能回数) (2) 就労 他の活動・サービスへつながった率 (機能訓練移行先決定者÷機能訓練修了者)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
障害者の心身機能の向上と社会参加を促進することにより、障害者個々の生活が豊かになり、「共に生きるまちをつくるために」貢献している。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績	計画		15年度	
指標	活動指標(1)		人	2393	1342	1260	1,397	1260	1260	110.9		
	活動指標(2)		回		248	225	216	225	225	96.0		
	成果指標(1)		%		64.7	70	67	75	75	89.9		
	成果指標(2)		%	59	60.7	70	76	75	75	101.1		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	43,878	29,415	30,867	28,954	30,653	特記事項			
	(内)委託費		千円							12年度実績の大幅な減は、12年度より生活訓練事業がなのはな生活園へ移行したことによる。また13年度計画の活動指標が12年度実績より下回ったのは、12年10月より個別対応時間を増やすため、訓練回数を週4回から週3回に変更したことによる。特定財源について平成13年度より事業費補助方式になったため大幅減となった。		
	職員数(正規 非常勤)		人	8.65	4.85	4.10	4.32	4.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	78,481	44,004	37,208	39,204	39,023			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	122,359	73,419	68,075	68,158	69,676				
	単位あたりコスト ÷		円	51,132	54,709	54,027	48,789	55,298				
	財源	受益者負担分		千円	139	149	283	182	347			
		国都等からの支出金		千円	4,369	4,422	3,662	2,239	2,953			
		特定財源計 +		千円	4,508	4,571	3,945	2,421	3,300			
差引:一般財源 -		千円	117,851	68,848	64,130	65,737	66,376					
受益者負担比率 ÷		%	0.1	0.2	0.4	0.3	0.5					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度から生活訓練事業はなのはな生活園に移行し、身体障害者福祉センター(B型)事業のみとなった。平成12年度から介護保険の導入等の対象者との整合性をふまえたうえで18歳以上おおむね65歳以下の方を対象とした。平成5年度より老人保健法による機能訓練事業との役割分担を行った。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		介護保険の実施に伴い、65歳以下の若年層でも介護保険のデイサービスの利用が中心となっているが、個々の能力に対してのアプローチや障害受容までの期間として会館を利用できるので、他のサービスへの移行がスムーズであったという声や会館のサービスを知らなかった方には、もっと早く知ることができたという声や、さらに、40歳以下のニーズがより高くなり、多様なプログラムが欲しいという声が聞かれるようになった。									
	今後の予測		社会福祉基礎構造改革により、障害者の個々のニーズに合った地域生活支援が求められるため、個別的なサービス提供と困難ケース・重複障害者の受け入れが課題となる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉会館各種相談				整理番号	305		枝番号						
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	91008	連絡先電話番号	4322		昨年度整理番号	320					
係名				障害者福祉会館		上位施策名			NO						
予算事業名				障害者福祉会館		コード	31400		障害者の地域社会での自立支援						
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57年度		根拠法令等						
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 身体障害者福祉法 (2) 身体障害者福祉センター設置運営要項 (3) 杉並区立障害者福祉会館及び盲人会館条例、同施行規則								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				地域生活や就労、進路等の相談に電話、面接、訪問を行なう。障害福祉に関する地域からの相談や活動に対し、アドバイスや関係機関との橋渡しを行なう。病気、予防法、健康管理、機能訓練の相談に専門医師が助言指導を行なう。また、職員によるバイタルチェックや生活へのアドバイス等の健康相談を実施する。										
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				相談者のニーズや問題点を明確にするため、訴えや要望に十分傾聴し、個々人の相談内容に応じた解決策や助言を行う。また、自立に向け本人が取り組めるような援助を心がける。相談者の問題が解決し精神的安定が図られ、生活の質の向上につながる。										
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				相談への適切な対応、地域と障害者との橋渡しの役割、ケアマネジメント機関の役割などを果たす事によって、障害者の生活を総合的に支援することができ、障害者本人の自立と生活の安定に貢献している。また、障害福祉について地域の理解を進める一助となっている。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			15年度				
指標	活動指標(1)		625		678		640	714	750		780	111.5			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		100		96		100	97.8	98		98	99.8			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,229		2,161		2,293		2,059		1,830		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	0.84	0.53	0.86	0.58	0.70	0.58	0.74	0.58	0.70			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,621		7,803		6,353		6,716		6,353		
		非常勤職員分		千円	1,558		1,705		1,720		1,720		0		
	総事業費 ++		千円	11,408		11,668		10,366		10,495		8,183			
	単位あたりコスト ÷		円	18,253		17,210		16,197		14,699		10,910			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国都等からの支出金		千円	201		325		272		0		0		
		特定財源計 +		千円	201		325		272		0		0		
差引:一般財源 -		千円	11,207		11,343		10,094		10,495		8,183				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区内障害者の相談、通所者の相談、地域住民からの障害福祉に関する相談等を行なってきた。作業訓練室、生活訓練室の廃止とともに、センター的機能が期待されている。生活相談の内容は多様化し、対象者の障害種別も多岐に及んでいる。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		既存の相談機関には相談しにくい事、主治医に話しにくい事を気軽に相談できる場である。												
	今後の予測		15年、措置制度から支援費制度に変わる。その中で会館は、障害者地域自立生活支援センターを開設し、相談・支援、ケアマネジメント機関としての役割を果たすべく、事業を充実していく必要がある。												

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者福祉会館障害者団体等援助				整理番号	306		枝番号			
所属部課名		保健福祉部障害者施策課		コード	91008	連絡先電話番号	4322		昨年度整理番号	321		
係名		障害者福祉会館			上位施策名				NO			
予算事業名		障害者福祉会館		コード	31400		障害者の社会参加や就労機会の拡大			33		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区障害者福祉会館及び盲人会館条例、同施行規則					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並障害者福祉会館運営協議会補助金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		障害者団体集会所の管理、手話通訳者の派遣事業等委託により実施し、福祉展等催し物の開催経費を補助している。				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		障害者や障害者団体の活動を援助することにより、障害者の社会活動が高まる。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
障害者の社会活動の意識および実際の参加を高め、活動をより活発にする。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績			18年度			
指標	活動指標(1)		回	256	364		398	477	987	40.3%		
	活動指標(2)		人	2,864	2,782	2,813	2,484	2,657	3,600	69.0%		
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,647	10,431	10,170	11,496	5,024	特記事項			
	(内)委託費		千円	9,126	4,541	3,522	5,853	1,658	平成14年度心身障害者集会所は高円寺障害者交流館開設にともなって移行したため、活動指標を手話通訳者派遣件数に変更する。手話通訳者の派遣件数には講演会等の団体派遣含んでいるため、対象となる聴覚障害者数の把握が困難なため成果指標として数値化しがたい。各種催し物は、不特定多数の障害者が参加するイベント等を含んでいるため、成果指標として数値化しにくい。また特定財源については、平成13年度より国都支出金の算定方式が事業費補助方式となったため算出していない。			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.84	0.71	0.60	0.63	0.60				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,621	6,805	5,444	5,717	5,445				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	21,268	17,236	15,614	17,213	10,469				
	単位あたりコスト ÷		円	83,078	47,352		43,249	21,948				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0	
		国都等からの支出金		千円	1,359	1,568	1,207	0			0	
		特定財源計 +		千円	14,359	1,568	1,207	0			0	
差引:一般財源 -		千円	19,909	15,668	14,407	17,213	10,469					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		心身障害者集会所については、当初借り上げ施設で対応し平成11年11月に旧なのはな生活園に移転した。平成14年3月に新たに高円寺障害者交流館として開設し、障害者団体連合会に運営を委託した。手話通訳派遣事業については平成12年社会福祉法により法定化された。障害者福祉会館運営協議会は設立20周年を迎えた。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		手話通訳派遣事業について小規模団体への派遣要望や通訳者の技術の向上について要望がある。									
	今後の予測		手話通訳者派遣依頼数は増加すると思われる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		盲人会館事業運営				整理番号	307		枝番号		
所属部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	91008	連絡先電話番号	4322		昨年度整理番号	322	
係名				障害者福祉会館		上位施策名			NO		
予算事業名		盲人会館		コード	31800	障害者の地域社会での自立支援			34		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		57 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 身体障害者福祉法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 盲人ホーム運営要綱						
	区内の視覚障害者及びその家族、ボランティア団体 区内の三療（はり、きゅう、マッサージ）の免許を有する重度視覚障害者で、雇用、自営が困難な人						(3) 杉並区立障害者福祉会館及び盲人会館条例、同施行規則				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）						活動指標名（式）				
	運営を視覚障害者団体に委託し、三療（はり、きゅう、マッサージ）の施術の場の提供と、盲人向けの講習会・レクリエーション等の提供及び施設の貸し出し						(1) 三療（はり きゅう マッサージ）の利用者数				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						成果指標名（式）					
三療の免許を有する視覚障害者で雇用・自営が困難な人に施術の場を提供する事によって、雇用もしくは開業できるよう自立の援助を図る。また点字・パソコン等の講習会を実施する事によって生活力の向上と教養を深める。						(1) 施術登録年数の平均					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか						(2) 視覚障害者全体から見た講習会利用者数					
視覚障害者の自立を高め、生活の質の向上を図る。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		人	3,054	3,331	3,200	3,178	3,200	3,500	90.8	
	活動指標(2)		人(延)	449	415	470	447	450	470	95.1	
	成果指標(1)		年	8	8	7	9	7	5	180.0	
	成果指標(2)		%	49.00	45.00	50.00	46.95	50.00	55.00	85.4	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,536	15,831	14,403	13,801	14,327	特記事項		
	(内)委託費		千円	12,736	12,628	13,236	12,760	12,456			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.34	0.32	0.30	0.32	0.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,085	2,903	2,723	2,904	2,723		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	18,621	18,734	17,126	16,705	17,050			
	単位あたりコスト ÷		円	6,097	5,624	5,352	5,256	5,328			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国 都等からの支出金		千円	2,115	3,525	2,142	2,138	2,154		
		特定財源計 +		千円	2,115	3,525	2,142	2,138	2,154		
差引：一般財源 -		千円	16,506	15,209	14,984	14,567	14,896				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		三療施術は、開始時より延3,000人前後の利用あり記録が残っている中で最高は平成7年度の3,540人。最近では、施術のPRにも努めており利用者は増加の傾向にあったが平成13年度は減少した。講習会参加者は延人数400人台で大きな変化はない。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		平成10年度の三療受療者アンケートでは、清潔で静かで良い、施術者も受付も丁寧でよいとおおむね好評であるが、施術者の指名が取りにくい、利用者数は減少したが土日は混むのでその対応の改善を望む声があった。施術者の施術力の向上を望む声もある。								
	今後の予測		三療が視覚障害者の職業として占める割合は高いが、引き続き視覚障害者の就職は難しく、また経済不況により開業も困難なため、施術登録者の自立はかなり難しく施術登録の長期化が依然懸念される。また病気等による中途失明者も、高齢者の増加と共に増えると思われる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		盲人ガイドヘルパー派遣委託				整理番号	308		枝番号		
所属部課名		保健福祉部 障害者施策課		コード	91008	連絡先電話番号	4322		昨年度整理番号	323	
係名				障害者福祉会館		上位施策名			NO		
予算事業名		盲人会館		コード	31800	障害者の地域社会での自立支援			34		
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		59 年度		根拠法令等		
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 身体障害者福祉法 (2) 東京都重度視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業運営要綱 (3) 杉並区盲人ガイドヘルパー派遣事業実施要項				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)						
	委託事業とし、初めに派遣希望者及びガイドヘルパー従事者それぞれ事前にメンバー登録し、要望があった際調整して派遣する。ただし利用目的は制限される。				(1) 使用回数		(2) 登録者数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)						
重度の視覚障害者が生活上必要な外出(例えば通院や公的機関への外出または冠婚葬祭・文化活動のような社会参加)をする際付添いが得られない場合でも外出できるようになる。				(1) 重度視覚障害者全体数から見た利用登録者数の割合		(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
重度視覚障害者の自主的な外出を援助する。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		17年度			
指標	活動指標 (1)		回	1,670	1,781	1,900	1,871	2,175	2,850	65.6	
	活動指標 (2)		人	111	121	125	129	145	190	67.9	
	成果指標 (1)		%	19	19	23	20	23	30	66.7	
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,951	8,398	8,627	8,627	8,733	特記事項		
	(内)委託費		千円	7,951	8,398	8,627	8,627	8,733			
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.17	0.12	0.10	0.10	0.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,542	1,089	908	908	1,815			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	9,493	9,487	9,535	9,535	10,548			
	単位あたりコスト ÷		円	5,685	5,327	5,018	5,096	4,850			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	1	0	1		
		国 都等からの支出金		千円	5,410	7,490	5,790	7,532	6,100		
		特定財源計 +		千円	5,410	7,490	5,791	7,532	6,101		
差引:一般財源 -		千円	4,083	1,997	3,744	2,003	4,447				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和59年より杉並区単独事業として実施。昭和63年厚生省より盲人ガイドヘルパー事業が身体障害者家庭奉仕員等派遣事業に取り入れて実施されることにより、全て市区町村が実施主体となり、国と都は経費の一部を補助することとなった。平成15年度には支援費支給制度(契約制度)への移行が予定されている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		ガイドヘルパーの意図からはずれた利用や利用者とガイドの行き違いによって生じる苦情やガイドヘルパーの守秘義務の徹底、技術力の向上を望む声がある。								
	今後の予測		個人の生活が多様化するにつれて外出時の利用目的がさらに多岐にわたってくる。とゆけ社会活動への参加を目的とした利用の増加が見込まれる。さらに高齢者の増加により中途視覚障害者への対応、契約制度への移行などによりガイドヘルパーの養成、技術力の向上が一層求められる。								



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		和田障害者交流館運営				整理番号	314		枝番号		
所属部課名 保健福祉部 障害者施策課		コード	91008		連絡先電話番号	4322		昨年度整理番号	331		
係名 障害者福祉会館		上位施策名						NO			
予算事業名 和田障害者交流館		コード	32410		障害者の社会参加や就労機会の拡大				33		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		7 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区立障害者福祉会館及び盲人会館条例同施行規則						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立和田障害者交流館及び高円寺障害者交流館の登録等に関する要綱								
	区内の障害者とその家族、ボランティア団体。機能訓練を目的とする団体。		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)								
	障害者雇用支援事業団への委託により施設の提供など運営管理を行う。		(1) 利用回数								
		(2) 利用人数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)									
障害者の自主的な集会や機能訓練を行う場を身近な地域で提供し、地域での障害者の自立と社会参加を高める。また障害者雇用支援事業団への委託により、障害者の就労の場の確保を図る。		(1) 利用率 (活動室の充足率、利用回数 / 年間利用可能室数)									
		(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 障害者の自立と社会参加に貢献している。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		17	年度			
指標	活動指標 (1)	回	701	765	1,000	781	1,000	1,200	65.1		
	活動指標 (2)	人	14,305	15,580	20,000	13,942	20,000	24,000	58.1		
	成果指標 (1)	%	35	38	50	39	50	60	65.0		
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	16,500	16,509	17,699	17,351	15,687	特記事項			
	(内) 委託費	千円	14,636	14,749	14,940	14,663	13,976				
	職員数 (正規   非常勤)	人	0.18	0.22	0.20	0.21	0.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,633	1,996	1,815	1,906				1,815
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +	千円	18,133	18,505	19,514	19,257	17,502				
	単位あたりコスト ÷	円	25,868	24,190	19,514	24,657	17,502				
	財源	受益者負担分	千円								
		国 都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	18,133	18,505	19,514	19,257	17,502				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	委託先の障害者事業団が財団法人化され障害者雇用支援事業団となり 委託団体が安定した。地理的な条件等により利用団体が、固定化してきている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望・苦情など)	障害児の放課後対策として優先的利用の希望がある。空いている時に一般区民にも利用させてほしいとの要望もある。									
	今後の予測	障害者の機能訓練や放課後対策の場としての利用が今後とも定着化する可能性がある。一方、高円寺交流館に利用者が流れて、利用が減ることも予測される。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特別児童扶養手当事務等				整理番号	340		枝番号				
所属部課名 保健福祉部障害者施策課		コード	91002		連絡先電話番号	1146		昨年度整理番号	361				
係名 障害者福祉係					上位施策名			NO					
予算事業名		児童扶養手当事務		コード	36200		障害児の援護の充実						
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 39 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 特別児童扶養手当の支給に関する法律								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 特別児童扶養手当受給対象者等				(2) 特別児童扶養手当の支給に関する法律に基づく都道府県及び市町村に交付する事務費に関する政令								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) (1) 特別児童扶養手当は国の制度であり、認定請求書の受理、進達、証書の交付事務を担当。 (2) 特別障害者手当支給 月26, 860円 (2) 障害児福祉手当支給 月14, 610円				(3) 特別児童扶養手当等の支給に関する法律、同施行令 国民年金法等の一部改正をする法律								
	活動指標名 (式) (1) 受給者数 (特別児童扶養手当) (2) 受給者 (特別障害者手当 障害児福祉手当)												
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 精神、身体に障害を有する者(児童)に手当を支給することにより、対象者の福祉の増進を図る。				成果指標名 (式) (1) 受給者数対前年比 (特別児童扶養手当) (2) 総支給額 (特別障害者手当 障害児福祉手当)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 精神、身体に障害を有する者(児童)の自立に貢献している。													
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度				14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
					計画		実績			年度			
指標	活動指標(1)		人	235	234	328		237		300			
	活動指標(2)		人	554	553	600		563		604			
	成果指標(1)		%	104	94	140		101		91			
	成果指標(2)		千円	138,993	145,648	162,081		149,330		164,693			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	139,310	145,916	162,365		149,604		164,970	特記事項		
	(内)委託費		千円								職員数 について12年度以前は事業の組合せが異なるため(1)分の特別児童扶養手当のみ計上		
	職員数(正規   非常勤)		人	0.50	0.50	0.47 0.37		0.47 0.37		0.77			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537	4,537	4,265		4,265				6,988
		非常勤職員分		千円	0	0	1,097		1,097				0
	総事業費 + +		千円	143,847	150,453	167,728		154,967		171,958			
	単位あたりコスト ÷		円	612,113	642,959	511,365		653,868		573,193			
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円	103,176	111,444	122,059		112,447				123,972
		特定財源計 +		千円	103,176	111,444	122,059		112,447				123,972
差引:一般財源 -		千円	40,671	39,009	45,669		42,520		47,986				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		受給者数は所得制限の定め方に応じて変化。 (1)平成5年度 196人 平成10年度 241人 (2)平成5年度 386人 平成10年度 517人										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		手当への期待は大きいと思われる。										
	今後の予測		毎年、所得制限額の見直しがある。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童育成手当（障害手当）				整理番号	353		枝番号						
所属部課名 保健福祉部障害者施策課		コード	091002		連絡先電話番号	1147		昨年度整理番号	375						
係名 障害者福祉係					上位施策名				NO						
予算事業名		児童手当・児童育成手当支給		コード	38400		障害児の援護の充実		27						
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 46 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区児童育成手当条例及び同施行規則										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 障害を有する児童（心身障害者手帳1, 2級 愛の手帳1~3度 脳性麻痺者 進行性筋萎縮症）を扶養する父又は母				(2)										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 障害者を扶養する保護者に対する生活の支援。 月17,000円				活動指標名（式） (1) 受給者数										
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 障害児を扶養する保護者に障害手当を支給することにより、障害児の健やかな成長を図る。				成果指標名（式） (1) 受給者数対前年比										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 児童の福祉の増進を援護している。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績	計画		年度				
指標	活動指標(1)		人	262		190		219		188		211			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	102		73		115		99		112			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	54,481		46,219		44,591		39,256		43,052		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	0.39		0.39		0.23		0.23		0.22			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,538		3,538		2,087		2,087		1,997		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	58,019		49,757		46,678		41,343		45,049			
	単位あたりコスト ÷		円	221,448		261,881		213,143		219,911		213,500			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引：一般財源 -		千円	58,019		49,757		46,678		41,343		45,049				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度の所得制限強化により一時的に受給者は減少したが、その後は横這い傾向にある。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望・苦情など)		社会情勢が厳しくなっている状況下で受給者の手当に対する期待は大きい。												
	今後の予測		緩やかに増加していくものと思われる。												

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神障害者ホームヘルプサービス				整理番号	438		枝番号		
所属部課名 保健福祉部 障害者施策課		コード	091001		連絡先電話番号	1143		昨年度整理番号			
係名 調整担当係長					上位施策名			NO			
予算事業名		精神保健対策		コード	42700		障害者の地域社会での自立支援		34		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区精神障害者ホームヘルプサービス事業運営要綱						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 精神障害により、日常生活を営むのに支障のある精神障害者がいる世帯				(2) 東京都精神障害者居宅介護等事業運営要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 精神障害者に精神障害者ホームヘルパーを派遣し、家事・介護等の日常生活を営むのに必要なサービスを提供する。				(3) 精神障害者居宅介護等事業運営要綱(国の要綱)						
	活動指標名(式)				(1) 派遣世帯数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 精神障害者が、居宅において、自立して、日常生活を営むことができる。				成果指標名(式)							
				(1) (代) (派遣世帯数) ÷ (精神障害者保健福祉手帳所持者数)							
				(2) .....							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 精神障害者が、地域社会の中で、自立して生活できるまちを実現する。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	世帯		3	10	21	20				
	活動指標(2)	回		40	520	401	1,040				
	成果指標(1)	%		0.4	1.4	2.6	2.5				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			122	101	4,498	特記事項		
	(内)委託費		千円					4,368			
	職員数(正規   非常勤)		人		0.10	5.00	5.04	7.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	907	45,375	45,738	64,433			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	0	907	45,497	45,839	68,931			
	単位あたりコスト ÷		円		302,433	4,549,700	2,182,810	3,446,525			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円		129	1,488	845	1,765		
		特定財源計 +		千円	0	129	1,488	845	1,765		
差引：一般財源 -		千円	0	778	44,009	44,994	67,166				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初は、都の補助事業ではあったが、実施する都内区市町村は少なかった。平成14年4月からは、法定事業となったため、実施する自治体がふえつつある。 また、法定事業化に伴い、国・都の要綱により手帳の所持など派遣条件に変更があった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		在宅生活を維持するために、単身生活者には、とても有効なサービスである。								
	今後の予測		今後、この事業がより広く周知されることにより、希望者の増加が見込まれる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神障害者通所授産事業				整理番号	440		枝番号	
所属部課名 保健福祉部障害者施策課		コード	091005		連絡先電話番号	3391-1976		昨年度整理番号	466	
係名 地域生活支援係		上位施策名						NO		
予算事業名	地域生活支援センター運営		コード	42710		障害者の地域社会での自立支援				34
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		11 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 精神保健福祉法			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		精神障害者通所授産事業の通所者		(2) 杉並区立保健医療センター条例			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		将来就労を希望する精神障害者に仕事の場を提供する。 作業内容：喫茶営業、公園清掃、軽作業(封入作業・名刺印刷) 通所日：月曜日～金曜日(祝日、年末年始除く) 作業時間：午前9時～午後4時、1日6時間作業(木曜は午前のみ) 通所期間：原則3年 定員：20名		活動指標名(式)		(1) 延べ通所者数			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		通所することにより生活のリズムを整えるとともに、体力を回復できる。さらに、就労支援講座等を開催し、一般就労に向けた意欲を高めていく。		成果指標名(式)		(1) 退所者に占める就労した通所者の率			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		雇用されることが困難な精神障害者が、一般就労できることにより、地域での自立が可能になる。								
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		17	年度		
指標	活動指標(1)	人	2,170	1,964	3,570	2,186	3,570	4,046	54.0	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	0	50	66	100	75	80	125.0	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	11,987	8,798	14,228	9,693	12,064	特記事項		
	(内)委託費	千円						財源のうち、授産施設受託収入は、に含めている。 13年度実績4,810千円 14年度計画4,610千円		
	職員数(正規 非常勤)	人	5.10   1.00	4.43   1.00	4.20   1.00	4.30   1.00	5.20   1.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	46,272	40,193	38,115	39,023	47,190		
		非常勤職員分	千円	2,939	2,939	2,966	2,966	2,966		
	総事業費 + +	千円	61,198	51,930	55,309	51,682	62,220			
	単位あたりコスト ÷	円	28,202	26,441	15,493	23,642	17,429			
	財源	受益者負担分	千円	363	435	20	22	7		
		国 都等からの支出金	千円	4,183	4,937	20,718	19,966	34,234		
		特定財源計 +	千円	4,546	5,372	20,738	19,988	34,241		
差引：一般財源 -		千円	56,652	46,558	34,571	31,694	27,979			
受益者負担比率 ÷	%	0.6	0.8	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	開設当初、民間の精神障害者共同作業所は区内に11か所であったが、現在は14か所に増えた。また、当該事業は区単独事業で開始されたが、平成13年度から東京都補助対象となり、13年度は6か月分、14年度は12か月分の補助金が交付され、区の負担は約50%軽減された。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	就労に向けた取り組みを強化して欲しいという要望が、利用者から出されている。								
	今後の予測	定期的な医療ケアを受けていれば、一般就労が可能な精神障害者は大幅に増加するとみられる。そのため、就労支援に向けた通所授産事業の役割は、ますます大きくなる。共同作業所との役割分担を明確にしなが、就労支援をしていく必要がある。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神障害者地域生活支援事業				整理番号	441		枝番号	
所属部課名 保健福祉部障害者施策課		コード	091005		連絡先電話番号	3391-1976		昨年度整理番号	467	
係名 地域生活支援係		上位施策名						NO		
予算事業名 地域生活支援センター事業		コード	42710		障害者の地域社会での自立支援				34	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		11 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成		年度		(1) 精神保健福祉法					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区及び周辺地域の精神障害者とその家族		(2) 杉並区立保健医療センター条例					
					(3) 東京都精神障害者社会復帰施設運営費等補助金交付要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		地域に生活する精神障害者の相談対応や交流の場の提供を行う。 生活相談及び憩いの場の実施日 火・水・木・土・日曜 イブニングケアの実施(第2・4水曜) 原則登録制とし、継続的な支援を実施。		活動指標名(式)					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		気軽に交流の場として活用してもらい、いつでも相談できる場とすることにより、地域で自立した生活ができる。		成果指標名(式)						
				(1) 実施1日あたり利用者人数						
				(2) 生活支援事業登録者1人あたり相談件数						
				意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか						
				精神障害者の生活のしづらさを軽減することにより、健常者と同じように住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。						
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		17	年度		
指標	活動指標(1)	人	2,124	3,213	4,000	3,790	4,400	5,000	75.8	
	活動指標(2)	件	763	960	1,500	1,614	2,000	2,800	57.6	
	成果指標(1)	人	7	13	16	16	18	20	77.5	
	成果指標(2)	件	7	9	10	9	12	20	46.5	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,426	4,087	3,874	3,625	4,018	特記事項		
	(内)委託費	千円								
	職員数(正規 非常勤)	人	2.61	2.41	3.20	2.00	3.20	2.00	3.20	2.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	23,681	21,866	29,040	29,040	29,040		
		非常勤職員分	千円	0	0	5,932	5,932	5,932		
	総事業費 ++	千円	27,107	25,953	38,846	38,597	38,990			
	単位あたりコスト ÷	円	12,762	8,077	9,712	10,184	8,861			
	財源	受益者負担分	千円	112	144	194	146	194		
		国 都等からの支出金	千円	13,935	17,148	21,690	22,453	21,779		
		特定財源計 +	千円	14,047	17,292	21,884	22,599	21,973		
差引:一般財源 -		千円	13,060	8,661	16,962	15,998	17,017			
受益者負担比率 ÷	%	0.4	0.6	0.5	0.4	0.5				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	開設初年度末の利用登録者は108名であったが、13年度末で172名になり、2年間で約60%増加した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	障害者団体から、共同作業所・グループホーム、保健センター及び福祉事務所を交えた話し合いの場を、地域生活支援センターが主催するよう要望が出されている。								
	今後の予測	平成14年度から、精神障害者居宅介護等事業が市区町村の事業になるなど、精神障害者の生活に密着した支援が区の役割としてますます大きくなり、それに伴い生活支援事業の範囲も拡大していく。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神障害者グループホーム助成			整理番号	442	枝番号	
所属部課名保健福祉部 障害者施策課		コード	091001	連絡先電話番号	1143	昨年度整理番号	468	
係名 調整担当係長				上位施策名			NO	
予算事業名		精神障害者施設助成		コード	42720	障害者の地域社会での自立支援		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 8年度			根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度			(1) 杉並区精神障害者グループホーム運営費補助金交付要綱				
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 精神障害者グループホームを設置・運営する団体			(2) 東京都精神障害者地域生活援助事業 (精神障害者グループホーム) 運営費補助金交付要綱 (3) 精神障害者地域生活援助事業運営要綱 (国の要綱)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 精神障害者グループホームを設置・運営する団体からの申請を精査し、運営経費の一部を補助する。また、入居者の適否を協議する。			活動指標名 (式) (1) 補助施設数 (2) 入居者数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 精神障害者が、地域社会において生活の場が確保でき、自立した生活を送る。			成果指標名 (式) (1) 精神障害者グループホームを退所し、地域で自立した生活を始めた者の数 (2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか								

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標 (1)		2	2	2	2	2			
	活動指標 (2)		9	9	9	9	9			
	成果指標 (1)		3	3	2	1	2			
	成果指標 (2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	26,139	21,111	20,853	20,473	22,032	特記事項		
	(内) 委託費	千円								
	職員数 (正規   非常勤)	人	0.26	0.30	0.30	0.30	0.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,359	2,722	2,723	2,723	1,815		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	28,498	23,833	23,576	23,196	23,847			
	単位あたりコスト ÷	円	14,248,990	11,916,450	11,787,750	11,597,750	11,923,500			
	財源	受益者負担分	千円							
		国 都等からの支出金	千円	16,575	15,562	15,610	15,144	16,108		
		特定財源計 +	千円	16,575	15,562	15,610	15,144	16,108		
差引 : 一般財源 -		千円	11,923	8,271	7,966	8,052	7,739			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	単身生活を送らなければならない精神障害者にとっては、経済的・社会的困難さは、事業開始当初と同じく、厳しいものがある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	補助対象施設及び補助金額の増を強く要望している。
	今後の予測	入院医療中心の治療体制から、地域におけるケアを中心とする体制へという流れの中で、退院後の生活の場が確保されないために社会的入院を余儀なくされている者の解消など、施設整備の充実がますます求められることが見込まれる。

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神障害者共同作業所助成				整理番号	443		枝番号		
所属部課名 保健福祉部 障害者施策課		コード	091001		連絡先電話番号	1143		昨年度整理番号	469		
係名 調整担当係長		上位施策名						NO			
予算事業名	精神障害者施設助成		コード	42720		障害者の社会参加や就労機会の拡大				33	
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		59 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区精神障害者共同作業所通所訓練事業運営費等助成要綱					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		精神障害者共同作業所を設置・運営する団体		(2) 杉並区精神障害者共同作業所通所訓練事業に係る通所者交通費助成事業運営要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	精神障害者共同作業所を設置・運営する団体からの申請を精査し、運営経費の一部を助成する。				(3) 杉並区精神障害者共同作業所 グループホーム設立運営資金貸付要綱					
	活動指標名 (式)					(1) 助成施設数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	回復途上にある精神障害者が、通所の方法により、作業訓練・生活指導等の社会適応訓練を受けることにより、社会復帰する。				成果指標名 (式)						
					(1) 精神障害者共同作業所を退所し 就職 (学) をした者の数						
					(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 精神障害者が、住み慣れた地域の中で、生活できるまちを実現する。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		年度			
指標	活動指標 (1)		所	13	13	14	14	14			
	活動指標 (2)		人	319	313	328	350	362			
	成果指標 (1)		人	15	6	14	0	7			
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	325,834	264,623	284,934	283,396	290,119	特記事項		
	(内) 委託費		千円								
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.75	0.85	0.80	0.70	0.70			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,805	7,712	7,260	6,353	6,353		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	332,639	272,335	292,194	289,749	296,472			
	単位あたりコスト ÷		円	25,587,596	20,948,850	20,871,000	20,696,321	21,176,536			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円	141,435	145,845	158,477	151,647	159,602		
		特定財源計 +		千円	141,435	145,845	158,477	151,647	159,602		
差引：一般財源 -		千円	191,204	126,490	133,717	138,102	136,870				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		入院治療中心の治療体制から、地域におけるケアを中心とする体制へという流れの中で、精神障害者を地域で支える中心的な存在として、大きな役割を果たすようになってきた。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		助成対象施設数の増並びに助成対象経費の範囲の拡大及び助成基準額の増額を強く要望している。								
	今後の予測		精神障害者の地域における自立と社会参加の促進のための「場」としての役割は、ますます高まると思われる。								



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者更生施設維持運営				整理番号	293		枝番号						
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131		連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	308				
係名				管理係				上位施策名			NO				
予算事業名				知的障害者援護施設運営				障害者の社会参加や就労機会の拡大			33				
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		55 年度								
	事業終期				●無 ○有		平成 年度								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体		<input checked="" type="checkbox"/> その他								
	すぎのき生活園、けやき生活園（施設）				平成14年4月1日付けで上記の2生活園を統合し、「すぎのき生活園」となる。										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。										
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				利用者が快適で安全な環境の中で生活・作業活動を行うことができるように施設が維持できている。											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				利用者が生活範囲を広げ、作業活動等を通して社会参加する場や機会を拡大している。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績		17年度				
指標	活動指標(1)		m <sup>2</sup>	2,432.11		2,432.11		2,432.11		2,432.11		2,432.11		100.0	
	活動指標(2)		件	21		21		21		21		10		210.0	
	成果指標(1)		回	10		5		0		6		0			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	58,707		21,820		20,516		20,048		19,056		特記事項 当課が収入している他区市在住利用者の受託収入及びその他収入を計上。	
	（内）委託費		千円			9,759		10,396		9,723		9,384			
	職員数（正規   非常勤）		人	6.65	0.00	6.62	0.00	5.75	0.00	5.78	0.00	4.80	0.80		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	60,335		60,063		52,181		52,454		43,560		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		2,373		
	総事業費 + + +		千円	119,042		81,883		72,697		72,502		64,989			
	単位あたりコスト ÷		円	48,946		33,668		29,891		29,810		26,721			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国 都等からの支出金		千円	1,631		1,623		1,630		1,624		1,627		
		特定財源計 +		千円	1,631		1,623		1,630		1,624		1,627		
差引：一般財源 -		千円	117,411		80,260		71,067		70,878		63,362				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		従前から施設維持経費の節減に努め、保守委託の見直し等を進めてきた。空調設備については、区で初のソーラー設備を導入したが、平成11年度にGHP方式（ガスによる空調方式）に切り替えた。												
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待 要望 苦情など）														
	今後の予測		建物及び設備が老朽化し、トラブルが多くなっていく。経年化に対応した適切な保守委託等を実施する必要がある。												

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者更生施設給食運営				整理番号	294		枝番号				
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131		連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	309		
係名				管理係				上位施策名		NO			
予算事業名				知的障害者援護施設運営		コード	30700		障害者の社会参加や就労機会の拡大		33		
事務事業の概要	事業開始年度		● 昭和 ○ 平成		55 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 知的障害者福祉法						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準								
	すぎのき生活園、けやき生活園の利用者及び施設職員等		(3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則										
	平成14年4月1日付けで上記の2生活園を統合し、「すぎのき生活園」となる。												
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		給食用食材の購入及び調理を業者に委託し、利用者に給食を提供する。					活動指標名 (式)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		良質でバランスのとれた食事を摂取する。社会生活に必要な食事のマナーなどが向上する。					成果指標名 (式)						
							(1) 利用者提供する給食数						
							(2)						
							(1) 給食提供達成率 = 提供給食数 / 提供給食予定数 (= 利用者数 × 提供延日数 × 利用者の年間出席想定率) × 100						
							(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
利用者の健康管理に貢献している。											食事面からの自立生活の援助に貢献している。		
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%				
				計画	実績		17	年度					
指標	活動指標 (1)	食	11,437	11,536	15,024	12,009	16,501	18,358	65.4				
	活動指標 (2)												
	成果指標 (1)	%	86.7	85.7	100	90.4	100	100	90.4				
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	22,452	22,568	24,462	24,164	24,825	特記事項					
	(内)委託費	千円		21,695	22,226	21,646	22,673	平成12年11月1日付けで、パートの栄養士が配置された。					
	職員数 (正規   非常勤)	人	0.50   0.00	0.70   0.00	0.70   0.00	0.63   0.00	0.63   0.10						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,537	6,351	6,353	5,717	5,717					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	297					
	総事業費 + + +	千円	26,989	28,919	30,815	29,881	30,839						
	単位あたりコスト ÷	円	2,360	2,507	2,051	2,488	1,869						
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0					
		国 都等からの支出金	千円	2,914	3,142	2,843	3,676	3,048					
		特定財源計 +	千円	2,914	3,142	2,843	3,676	3,048					
差引:一般財源 -		千円	24,075	25,777	27,972	26,205	27,791						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	すぎのき生活園については、開設当初は区の調理職員により給食調理が実施されていたが、平成9年度から業者委託された。けやき生活園は、開設当初から業者委託している。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	給食を提供することは、利用者の大きな楽しみであるとともに、保護者からの期待も高い。											
	今後の予測	施設の利用者の障害の重度化及び多様化や平均年齢の上昇、食品衛生意識の高まりなどに伴い、よりきめ細かな栄養指導や衛生管理が求められ、給食運営の重要性がますます増してくる。											

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	知的障害者更生施設利用者通所バスの運行	整理番号	295	枝番号	
所属部課名	保健福祉部障害者施設課	コード	091131	連絡先電話番号	3783
				昨年度整理番号	310
係名	管理係	上位施策名	NO		
予算事業名	知的障害者援護施設運営	コード	30700	障害者の社会参加や就労機会の拡大	33
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	55 年度		
	事業終了期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 知的障害者福祉法 (2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準 (3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	施設の利用者を、民間のバスにより施設まで送迎する。 意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設利用者の通所手段を確保する。			
	活動指標名 (式)	(1) バス利用者数 (1日あたり平均) (2) バス運行回数 (1通所 1回 × 台数(3台))			
成果指標名 (式)	(1) $\frac{\text{バス通所に1時間以上要する利用者数 (通所時 1回あたり平均)}}{\text{バス利用者数 (通所時 1回あたり平均)}}$ (2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 施設利用者が継続して通所することにより、施設のサービスを受けることができる。					

区分	単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%
		計画	実績	計画	実績	計画	実績		17	年度	
指標	活動指標 (1)	人	41.6	42.2	45.2	45.5	60.0	65.0	70.0		
	活動指標 (2)	回	708	708	708	708	711	711	99.6		
	成果指標 (1)	%	43.3	42.7	39.8	22.0	18.3	0			
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	42,782	40,215	39,964	39,963	39,165	特記事項			
	(内)委託費	千円	42,782	40,215	39,964	39,963	39,165				
	職員数 (正規   非常勤)	人	0.50   0.00	0.50   0.00	0.50   0.00	0.51   0.00	0.61   0.10				
	人件費	千円	4,537	4,537	4,538	4,628	5,536				
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	297				
	総事業費 + + +	千円	47,319	44,752	44,502	44,591	44,997				
	単位あたりコスト ÷	円	1,137,464	1,060,462	984,546	980,027	749,956				
	財源	千円	0	0	0	0	0				
	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				
	国 都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0				
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0					
差引：一般財源 -	千円	47,319	44,752	44,502	44,591	44,997					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	すぎのき生活園では、開設時は区職員による運行を行っていたが、昭和63年度から業者に委託した。けやき生活園は、開設時からすぎのき生活園の通所バスと一体で業者に運行を委託している。また、平日のバスの空き時間及び土曜・日曜日等に施設行事等の臨時運行に活用しているほか、他課からの依頼による行事送迎等にも活用し、バスの有効活用に努めている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	バスの運行については、保護者から強い支持がある。									
	今後の予測	今後、入所者の増加が見込まれる。また、居住地が区内全域にわたるため通所時間が延びてきており、その時間短縮による負担軽減が求められてきている。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者更生施設利用者日常生活支援				整理番号	296		枝番号				
所属部課名	保健福祉部障害者施設課			コー	091141	連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	311			
係名	すぎのき生活園				上位施策名				NO				
予算事業名	すぎのき生活園			コード	31200		障害者の社会参加や就労機会の拡大				33		
事務事業の概要	事業開始年度	● 昭和 ○ 平成		55 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期	● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 知的障害者福祉法							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準									
	すぎのき生活園及びけやき生活園（平成14年4月1日付けで2園が統合し、「すぎのき生活園」となる。）の利用者					(3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 利用者の日常生活及び作業活動を支援する。					活動指標名（式） (1) 日常生活援助活動における目標設定に対して、成果のあった利用者数 (2) 作業活動における目的設定に対して成果のあった利用者数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 利用者が日常のさまざまな体験を積み、日常生活能力を身に付ける。また、作業活動を通して社会参加の意欲や力量を高める。					成果指標名（式） (1) 日常生活援助活動における目標設定に対して、成果のあった利用者の割合 (2) 作業活動における目標設定に対して、成果のあった利用者の割合								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 利用者が有意義な日常生活を送れるようになり、社会参加の機会を広げる。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績	計画		17年度		
指標	活動指標(1)		人	46	50	69	55	76	84	65.5			
	活動指標(2)		人	53	52	69	55	76	84	65.5			
	成果指標(1)		%	76	82	100	89	100	100	89.0			
	成果指標(2)		%	86	85	100	89	100	100	89.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,215	7,317	9,077	8,053	8,702	特記事項				
	(内)委託費		千円		29	37	37	54					
	職員数(正規 非常勤)		人	27.89	0.70	29.53	0.70	32.07	0.70	33.07	0.90	33.05	0.90
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	253,046	267,926	291,035	300,110	299,929					
		非常勤職員分	千円	2,057	2,057	2,076	2,669	2,669					
	総事業費 + + +		千円	262,318	277,300	302,188	310,833	311,300					
	単位あたりコスト ÷		円	5,702,571	5,546,000	4,379,543	5,651,503	4,096,055					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0				
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引：一般財源 -		千円	262,318	277,300	302,188	310,833	311,300						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		利用者の障害の重度化や重複化が進んできている。したがって、活動プログラムの個別化が年々進んでいる。また、保護者の高齢化により、家族の介護力が低下してきている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		住み慣れた杉並で、一生涯生活が続けられるような地域生活支援策の充実が要望されている。特に、慣れた支援者の育成・確保が急務である。										
	今後の予測		支援費制度への移行に伴い、よりサービスの個別化、選択化が求められる。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者更生施設各種行事等				整理番号	297		枝番号							
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091141		連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	312					
係名		すぎのき生活園				上位施策名				NO						
予算事業名		すぎのき生活園		コード	31200		障害者の社会参加や就労機会の拡大				33					
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		55年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		●無 ○有		平成年度		(1) 知的障害者福祉法									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		盆踊り、施設祭、施設公開、アルミ缶コンサート 井草区民センター夏祭り、どんど焼き				活動指標名(式)									
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		障害者理解の第一歩として、施設へ来場した区民と一緒に行事を楽しむ。 施設利用者が外出し、地域の方と交流して障害者理解を得る。				成果指標名(式)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											利用者が行事を通して地域の区民等と交流しつつ、社会参加の機会を広げる。					
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
							計画		実績		17年度					
指標	活動指標(1)		人	183		183		207		174		228		252	69.0	
	活動指標(2)		人	49		59		71		64		88		96	66.7	
	成果指標(1)		%	88		88		100		94		100		100	94.0	
	成果指標(2)		%	50		48		50		52		53		57	53.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,881		3,485		4,155		3,605		4,424		特記事項		
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0				
	職員数(正規 非常勤)		人	3.26	0.30	3.46	0.30	3.70	0.30	3.57	0.10	3.71	0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	29,578		31,393		33,578		32,398		33,668			
		非常勤職員分		千円	882		882		890		297		297			
	総事業費 + + +		千円	34,341		35,759		38,622		36,299		38,389				
	単位あたりコスト ÷		円	187,654		195,406		186,581		208,617		168,372				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0			
		国都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0			
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	34,341		35,759		38,622		36,299		38,389					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度から施設祭りの日数を2日間から1日間に変更した。また、自治会やボーイスカウトなどの地域団体に模擬店、ゲームコーナーなどの運営を任せ、地域住民との交流を、より深めている。最大の施設行事である「杉実祭」の日程を、年間行事のバランスや保護者負担を考慮し、平成14年度から11月開催に変更した。個々の興味・関心に応じて多様な目的地を設定した「社会見学」を平成14年度から実施している。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		利用者、保護者は職員以上に長年にわたって在籍し続ける。よって、施設行事を通して、この井草地域住民との交流、理解をより深めていきたいとの要望がある。													
	今後の予測		支援費制度への移行に伴い、よりサービスの個別化、選択化が求められる。													

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者授産施設維持運営				整理番号	298		枝番号							
所属部課名	保健福祉部障害者施設課			コード	091131	連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	313						
係名 管理係					上位施策名				NO							
予算事業名 知的障害者援護施設運営					コード	障害者の社会参加や就労機会の拡大				33						
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 55 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業											
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 知的障害者福祉法											
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 あけぼの作業所、あすなる作業所、ひまわり作業所（施設）				(2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準											
					(3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 利用者が快適な環境で作業を行うため、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。				活動指標名（式）											
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 利用者が安全かつ衛生的で良好な環境の中で作業等を行うことができる。				成果指標名（式）											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 利用者が就労形態のひとつとして簡易な仕事を行う場を確保し、生活支援を受けて社会参加の機会を広げている。																
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%					
							計画	実績		17年度						
指標	活動指標(1)		m <sup>2</sup>	3,677.58	3,677.58	3,677.58	3,677.58	3,677.58	3,677.58	1,365.75	269.3					
	活動指標(2)		件	28	28	28	28	28	28	9	311.1					
	成果指標(1)		回	7	14	0	18	0	0							
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	32,804	29,632	32,228	33,911	28,453	特記事項							
	(内)委託費		千円		10,747	11,988	11,156	10,594	当課が収入している他区市在住利用者の受託収入及びその他収入を計上。区立知的障害者授産施設は、次のとおり民営化が予定されている。 平成16年度...あすなる作業所 平成17年度...ひまわり作業所(15~16年度は運営委託) 上記の平成17年度目標値(活動・成果指標)はあけぼの作業所みのデータである。							
	職員数(正規 非常勤)		人	9.32	0.10	8.31	0.10	8.11				0.55	8.32	0.53	8.34	1.03
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	84,560	75,397	73,598	75,504				75,686				
		非常勤職員分		千円	294	294	1,631	1,572				3,055				
	総事業費 + + +		千円	117,658	105,323	107,458	110,987	107,193								
	単位あたりコスト ÷		円	31,993	28,639	29,220	30,179	29,148								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0				
		国都等からの支出金		千円	33,936	33,187	34,605	36,700				37,730				
		特定財源計 +		千円	33,936	33,187	34,605	36,700				37,730				
差引:一般財源 -		千円	83,722	72,136	72,853	74,287	69,463									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		各施設とも施設維持経費の節減に努め、保守委託の見直し等を進めてきた。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)															
	今後の予測		建物及び設備が老朽化し、トラブルが多くなっていく。経年化に対応した適切な保守委託等を実施する必要がある。													

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者授産施設給食運営				整理番号	299		枝番号								
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131		連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	314						
係名				管理係				上位施策名				NO					
予算事業名				知的障害者援護施設運営				コード				30700					
事業開始年度				●昭和 ○平成				55年度				根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
事業終期				●無 ○有				平成				年度				(1) 知的障害者福祉法	
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				あけぼの作業所、あすなる作業所、ひまわり作業所の利用者及び施設職員等				(2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準				(3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				給食用食材の購入及び調理を業者に委託し、利用者に給食を提供する。				活動指標名 (式)				(1) 利用者に提供する給食数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				良質でバランスのとれた食事を摂取する。社会生活に必要な食事のマナーなどが向上する。				成果指標名 (式)				(1) 給食提供達成率 = (提供給食数 / 提供給食予定数 (= 利用者数 × 提供延日数 × 利用者の年間出席想定率)) × 100					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				利用者の健康管理に貢献している。				食事面からの自立生活の援助に貢献している。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%							
					計画	実績	計画	17年度									
指標	活動指標 (1)		食	31,968	32,763	39,158	32,953	40,899	15,134	217.7							
	活動指標 (2)																
	成果指標 (1)		%	95.1	89.4	100	88.2	95	95	92.8							
	成果指標 (2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	31,766	36,191	39,250	38,519	41,701	特記事項								
	(内)委託費		千円		35,931	36,973	36,365	37,351	栄養士配置経緯...H12.11.1あけぼの作業所に常勤1名配置(障害者福祉課から)。H13.4.1あすなる作業所、H14.8.1ひまわり作業所に各パート1名配置。あすなる作業所の調理職員数...11年度までは常勤、非常勤、パートが各1名で、12年度以降は業者委託のためゼロとなった。区立知的障害者授産施設の民営化の予定...平成16年度にあすなる作業所、同17年度にひまわり作業所が民営化。上記の平成17年度目標値(活動・成果指標)は、あけぼの作業所のみデータである。								
	職員数 (正規   非常勤)		人	2.50   1.00	2.16   0.00	2.16   0.00	1.94   0.50	1.93   0.00									
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	22,683	19,598	19,602	17,606			17,515						
		非常勤職員分		千円	2,939	0	0	1,483			0						
	総事業費 + + +		千円	57,388	55,789	58,852	57,608	59,216									
	単位あたりコスト ÷		円	1,795	1,703	1,503	1,748	1,448									
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0						
		国 都等からの支出金		千円	1,804	2,030	867	1,912			1,138						
		特定財源計 +		千円	1,804	2,030	867	1,912			1,138						
差引:一般財源 -		千円	55,584	53,759	57,985	55,696	58,078										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		あけぼの作業所及びあすなる作業所については、開設当初は区の調理職員により給食調理が実施されていたが、あけぼのは平成8年度から、あすなるは同12年度からそれぞれ業者委託された。ひまわり作業所は、開設時は仮施設で弁当購入により対応していたが、平成7年4月の本施設開所時に業者に委託している。														
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		給食を提供することは、利用者の大きな楽しみであるとともに、保護者からの期待も高い。														
	今後の予測		施設の利用者の障害の重度化及び多様化や平均年齢の上昇、食品衛生意識の高まりなどに伴い、よりきめ細かな栄養指導や衛生管理が求められ、給食運営の重要性がますます増してくる。														

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者授産施設利用者通所バスの運行				整理番号	300		枝番号				
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131		連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	315		
係名				管理係				上位施策名		NO			
予算事業名				知的障害者援護施設運営		コード	30700		障害者の社会参加や就労機会の拡大		33		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		63年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 知的障害者福祉法		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		あけぼの作業所の利用者のうち、自主的な通所ができない者等。		(2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準			(3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				自主的な通所が困難な施設利用者を、民間のバスにより施設まで送迎する。		活動指標名 (式)		(1) バス利用者数 (1日あたり平均)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				自主的な通所の困難な施設利用者の通所手段を確保する。		成果指標名 (式)		(1) バス通所に1時間以上要する利用者数 (通所時1回あたり平均) ÷ バス利用者数 (通所時1回あたり平均)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				自主通所の施設利用者と同様にバス利用者も継続して通所することにより、施設のサービスを受けることができる。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
					計画	実績			17年度				
指標	活動指標 (1)		人	14.5	14.2	16.9	16.0	17.0	20.0	80.0			
	活動指標 (2)		回	237	240	240	240	242	242	99.2			
	成果指標 (1)		%	6.9	7	5.9	12.5	17.6	0				
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,970	10,180	10,117	10,117	10,180	特記事項				
	(内)委託費		千円	9,970	10,180	10,117	10,117	10,180					
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.00	0.20   0.01	0.20   0.01					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815	1,815	1,815	1,815	1,815				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	30	30				
	総事業費 + + +		千円	11,785	11,995	11,932	11,962	12,025					
	単位あたりコスト ÷		円	812,731	844,690	706,036	747,604	707,333					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0				
		国 都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	11,785	11,995	11,932	11,962	12,025						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		あけぼの作業所は、開設時 (昭和63年)から通所バスの運行を業者に委託している。最近では、利用者の加齢と障害の多様化により、通所バスへの依存度が高まっている。また、平日のバスの空き時間及び土曜・日曜日等に施設行事等の臨時運行に活用しているほか、他課からの依頼による行事送迎等にも活用し、バスの有効活用に努めている。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		バスの運行については、保護者から強い支持がある。										
	今後の予測		今後、より重度の障害がある入所者の増加が見込まれるとともに、既入所者も加齢に伴い自主通所困難な人の増加が予測される。また、居住地が区内全域にわたるため通所時間が延びてきており、その時間短縮による負担軽減が求められてきている。										



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者授産施設授産作業				整理番号	301	枝番号			
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091143	連絡先電話番号	3395-1441	昨年度整理番	316		
係名					あけぼの作業所			上位施策名			
予算事業名					あけぼの作業所			NO			
					コード			30800			
					障害者の社会参加や就労機会の拡大			33			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		根拠法令等				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		あけぼの作業所・あすなる作業所・ひまわり作業所の利用者		(1) 知的障害者福祉法 (2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準 (3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		利用者に簡易な仕事を提供し、併せて生活や健康管理などの援助を通して、利用者の自立を支援する。		活動指標名 (式)		(1) 施設利用者数 (2) 月平均作業従事者数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が作業能力を伸ばし、収入を得ることにより責任を持って協力して働く喜びを知るとともに、生活能力を高める。また、一般就労の可能な人は、企業就労に積極的に取り組む。		成果指標名 (式)		(1) 障害者雇用支援事業団への派遣就労者及び実習者の人数 (2) 利用者一人当りの月平均作業従事日数の割合				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 作業や生活・健康管理などの支援を通じ、知的障害者が自立し安定した生活を営むことにより、就労機会や社会参加の拡大に貢献している。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値 #	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標 (1)		人	160	163	178	169	184	70	241.4	
	活動指標 (2)		人	155	160	178	164	184	70	234.3	
	成果指標 (1)		人	3	3	5	6	8	8	75.0	
	成果指標 (2)		%	88	86	87	87	90	90	96.7	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	40,909	37,321	44,732	39,694	44,187	特記事項 区立知的障害者授産施設は、次のとおり民営化が予定されている。 平成16年度...あすなる作業所 平成17年度...ひまわり作業所 (15~16年度は運営委託) 上記の平成17年度目標値(活動・成果指標)はあけぼの作業所のみデータである。		
	(内)委託費		千円		299	518	376	408			
	職員数 (正規   非常勤)		人	24.93   2.90	25.19   2.90	25.96   1.95	26.75   1.95	28.16   1.95			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	226,190	228,549	235,587	242,756			255,552
		非常勤職員分		千円	8,523	8,523	5,784	5,784			5,784
	総事業費 + + +		千円	275,622	274,393	286,103	288,234	305,523			
	単位あたりコスト ÷		円	1,722,637	1,683,392	1,607,319	1,705,526	1,660,449			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国 都等からの支出金		千円	24,052	21,958	26,664	24,165			27,047
		特定財源計 +		千円	24,052	21,958	26,664	24,165			27,047
差引:一般財源 -		千円	251,570	252,435	259,439	264,069	278,476				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		(1)経済の低迷で受注作業が減り 工賃支払額が落ちている。 【利用者一人当りの平均工賃月額】 H3年度実績 15,407円 ??? H13年度実績 12,065円 (2)利用者の加齢と障害の多様化 H4.4.1 平均年齢 27.0歳 ??? H13.4.1 平均年齢 32.1歳								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		安定した工賃収入を期待している。多様な仕事のメニューを用意して欲しい。 知的障害者の一般就労は社会状況から見て難しく、福祉的就労の場を確保して欲しい等の要望がある。								
	今後の予測		経済状況が好転し受注作業が増えることは期待できない。よって、受注以外の作業の開発の必要がある。また、利用者の高齢化はますます進むので、今後は利用者の個別ニーズに合わせた仕事の確保が必要。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者授産施設クラブ活動及び行事等				整理番号	302		枝番号							
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091144		連絡先電話番号	3322-1020		昨年度整理番号	317					
係名		あすなる作業所				上位施策名		NO								
予算事業名		あすなる作業所		コード	31000		障害者の社会参加や就労機会の拡大		33							
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		55年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		●無 ○有		平成年度		(1) 知的障害者福祉法									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		あけぼの作業所・あすなる作業所・ひまわり作業所の利用者		(2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準									
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)									
	各種行事		(宿泊行事・レクリエーション・社会見学・まつり・体育指導等)及びクラブ活動・ストレッチなどを実施する。				(1) 行事等への延べ参加者数									
意図		(対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)										
社会生活に必要なことがらを身につける。豊かな社会生活を体験する。						(1) 行事等への参加割合(延べ参加者数÷延べ入所者数×100)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		利用者の社会生活を豊かにし、自立を援助することにより、地域での社会参加の機会を広げ、ノーマライゼーションの実現に貢献している。				(2) クラブ等への参加割合(延べ参加者数÷延べ入所者数×100)										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
							計画		実績		17年度					
指標	活動指標(1)		人	1,681		1,568		1,651		1,359		1,405		455	298.7	
	活動指標(2)		人	6,099		6,482		7,476		6,695		7,818		3,428	195.3	
	成果指標(1)		%	89		89		89		88		90		93	94.6	
	成果指標(2)		%	86		85		90		86		90		83	103.6	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,992		7,573		7,571		6,886		8,467		特記事項 区立知的障害者授産施設は、次のとおり民営化が予定されている。 ・平成16年度...あすなる作業所 ・平成17年度...ひまわり作業所(15~16年度は運営委託) 上記の平成17年度目標値(活動・成果指標)はあけぼの作業所のみデータである。		
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0				
	職員数(正規 非常勤)		人	9.68	0.00	9.66	0.00	10.22	0.00	9.33	0.01	8.40	0.01			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	87,827		87,645		92,747		84,670		76,230			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		30		30			
	総事業費 + + +		千円	96,819		95,218		100,318		91,585		84,727				
	単位あたりコスト ÷		円	57,596		60,726		60,762		67,392		60,304				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0			
		国都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0			
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	96,819		95,218		100,318		91,585		84,727					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		行事実施内容、実施回数及び実施場所を変更した。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		余暇活動の充実に貢献できる事業として利用者・保護者に期待され、また、楽しみとなっている。高齢化、障害の重度化、他障害(身体障害・精神障害)の重複等に対応できる行事の実施が望まれている。													
	今後の予測		利用者個々の状況が変化し、画一的なプログラムでは適切な対応ができなくなってくる。家庭(保護者)の力の低下傾向も予想され、本事業の充実がますます望まれる。併せて、地域の理解を得、連携を深めることも重要になってくる。													

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身体障害者通所施設維持運営				整理番号	309		枝番号				
所属部課名	保健福祉部障害者施設課			コード	091146	連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	324			
係名	こすもす生活園				上位施策名				NO				
予算事業名	こすもす生活園			コード	32200		障害者の社会参加や就労機会の拡大			33			
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 身体障害者福祉法							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則						
	こすもす生活園、なのはな生活園（施設）						(3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）						活動指標名（式）						
利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。						(1) 施設延べ床面積							
						(2) 保守委託契約件数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						成果指標名（式）							
利用者が快適で安全な環境の中でさまざまな活動を行うことができるように施設が維持できている。						(1) 不具合件数							
						(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 施設内外の諸活動を通して、利用者の自立と社会参加を支援している。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績	計画		17年度		
指標	活動指標(1)		㎡	1,813.25	1,813.25	1,813.25	1,813.25	1,813.25	1,813.25	2,308.98	78.5		
	活動指標(2)		件	15	15	15	15	11	17	88.2			
	成果指標(1)		回	1	2	0	9	0	0				
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	21,564	19,706	20,741	21,744	19,226	特記事項				
	(内)委託費		千円		9,689	10,163	9,593	9,555	平成15年度に、新規1施設を開設する。				
	職員数(正規 非常勤)		人	3.41	0.00	3.40	0.00	4.25	0.00	4.20	0.00	4.17	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	30,939	30,848	38,569	38,115	37,843				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + + +		千円	52,503	50,554	59,310	59,859	57,069					
	単位あたりコスト ÷		円	28,955	27,880	32,709	33,012	31,473					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0				
		国都等からの支出金		千円	29,862	38,014	37,262	41,220	39,593				
		特定財源計 +		千円	29,862	38,014	37,262	41,220	39,593				
差引：一般財源 -		千円	22,641	12,540	22,048	18,639	17,476						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		各施設とも施設維持経費の節減に努め、保守委託の見直し等を進めてきた。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)												
	今後の予測		特別な配慮が必要な重症な利用希望者の増加や、現利用者の高齢化・重度化に伴って、施設整備の対応が必要となる。また、平成14年度に現2施設の入所定員が満杯となり、実施計画に基づき平成15年度に新規1施設の開設が予定されているが、数年後には定員を満たすことが予測される。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身体障害者通所施設給食運営				整理番号	310		枝番号									
所属部課名	保健福祉部障害者施設課			コード	091146	連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	325								
係名	こすもす生活園				上位施策名				NO									
予算事業名	こすもす生活園			コード	32200	障害者の社会参加や就労機会の拡大				33								
事務事業の概要	事業開始年度	○昭和 ●平成		5年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期	●無 ○有		平成 年度		(1) 身体障害者福祉法												
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		こすもす生活園、なのはな生活園の利用者及び施設職員等														
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	給食用食材の購入及び調理を業者に委託し、利用者に給食を提供する。				活動指標名 (式)												
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	良質でバランスのとれた食事を摂取する。利用者が身体及び口腔機能の状況に応じた食事をとれるようにする。				成果指標名 (式)												
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか																		
利用者の健康管理に貢献している。 食事面からの自立生活の援助に貢献している。																		
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成					
							計画		実績		17年度							
指標	活動指標 (1)		食	6,843		9,308		10,467		8,733		10,052		10,387	84.1			
	活動指標 (2)																	
	成果指標 (1)		%	92.2		94.4		100		87.8		100		100	87.8			
	成果指標 (2)																	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,383		23,530		24,062		23,496		24,141		特記事項				
	(内)委託費		千円			23,474		23,906		23,446		23,930		受益者負担...20歳未満の利用者の保護者の所得が一定額以上の場合、一食当り369円の食材料費を徴収し、20歳以上の利用者は本人徴収がないため免除となる。 平成17年度目標値(活動指標)は、既存2施設の数値で、実施計画で予定している新規開設1施設は含まれていない。				
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.43	0.00	0.42	0.00	0.63	0.00	0.62	0.00	0.62	0.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,901		3,811		5,717		5,627		5,627					
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0					
	総事業費 + + +		千円	20,284		27,341		29,779		29,123		29,768						
	単位あたりコスト ÷		円	2,964		2,937		2,845		3,335		2,961						
	財源	受益者負担分		千円	299		431		607		284		216					
		国 都等からの支出金		千円	1,945		2,459		2,558		2,621		2,721					
		特定財源計 +		千円	2,244		2,890		3,165		2,905		2,937					
差引 :一般財源 -		千円	18,040		24,451		26,614		26,218		26,831							
受益者負担比率 ÷		%	1.5		1.6		2.0		1.0		0.7							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		利用者の高齢化や障害の重度化が進行し、利用者の食形態が多様化してきている。															
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		個々の利用者の状況に即した食事内容及び食形態などの給食サービスに対する要望が強い。															
	今後の予測		施設の利用者の障害の重度化及び多様化や平均年齢の上昇、食品衛生意識の高まりなどに伴い、よきめ細かな栄養指導や衛生管理が求められ、給食運営の重要性がますます増してくる。															

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	身体障害者通所施設利用者通所バスの運行			整理番号	311		枝番号			
所属部課名	保健福祉部障害者施設課			コード	091146		連絡先電話番号	3317-9312		
係名	こすもす生活園			上位施策名	NO					
予算事業名	こすもす生活園			コード	32200		障害者の社会参加や就労機会の拡大	33		
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 身体障害者福祉法				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則						
	こすもす生活園、なのはな生活園の利用者				(3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)					
施設の利用者を、民間のバスにより施設まで送迎する。				(1) バス利用者数 (1日あたり平均)						
				(2) バス運行回数 (1通所 1回 × 台数 (3台) × 2施設)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)						
施設利用者の通所手段を確保する。				(1) $\text{バス通所に1時間以上要する利用者数 (通所時 1回あたり平均)} \div \text{バス利用者数 (通所時 1回あたり平均)}$						
				(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
施設利用者が継続して通所することにより、施設のサービスを受けることができる。										

区分	単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績		17年度	年度		
指標	活動指標 (1)	人	29.6	37.3	50.0	35.9	52.0	52.0	69.0			
	活動指標 (2)	回	1,145.0	1,398.0	1,407.0	1,392.0	1,422.0	1,422.0	97.9			
	成果指標 (1)	%	16.8	18.8	14.0	30.6	25.0	0.0				
	成果指標 (2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	68,796	71,921	71,921	71,921	70,096	特記事項				
	(内)委託費	千円	68,796	71,921	71,921	71,921	70,096	なのはな生活園は平成11年度まではバス2台で運行していた。 17年度目標値(活動指標及び成果指標)は既存2施設の数値で、実施計画で予定している新規開設1施設は含まれていない。				
	職員数 (正規   非常勤)	人	0.43   0.00	0.42   0.00	0.43   0.00	0.62   0.00	0.62   0.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,901	3,811	3,902	5,627					5,627
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					0
	総事業費 + + +	千円	72,697	75,732	75,823	77,548	75,723					
	単位あたりコスト ÷	円	2,455,993	2,030,339	1,516,465	2,160,097	1,456,202					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0					0
		国 都等からの支出金	千円	0	0	0	0					0
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0					0
差引：一般財源 -		千円	72,697	75,732	75,823	77,548	75,723					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	こすもす生活園 (平成5年開設)、なのはな生活園 (平成9年開設)ともに、開設時から業者に運行を委託している。また、平日のバスの空き時間及び土曜・日曜日等に施設行事等の臨時運行に活用しているほか、他課からの依頼による行事送迎等にも活用し、バスの有効活用に努めている。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	利用者は一般交通機関の利用が困難なため、保護者からは感謝されている。なお、保護者から乗降場所など、よきめの細かいサービスの要望が出されている。										
	今後の予測	今後、入所者の増加が見込まれるが、14年度に現2施設の入所定員が一杯になり、15年度に新規1施設の開設が予定されている。新規施設についても既存施設同様利用者全員が通所バスを利用することになるため、そのための対応 (バスの新規購入、既存のバスの有効活用など)が必要となる。また、居住地が区内全域にわたるため通所時間が延びてきており、その時間短縮による負担軽減が求められてきている。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身体障害者通所施設利用者日常生活支援				整理番号	312		枝番号		
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091146	連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	329	
係名		こすもす生活園				上位施策名			NO		
予算事業名		こすもす生活園		コード	32200	障害者の社会参加や就労機会の拡大			33		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 身体障害者福祉法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		こすもす生活園及びなのはな生活園の利用者		(2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		機能訓練、個別支援計画の策定・実施、社会適応支援、創作的活動、スポーツ・レクリエーション、健康管理の支援、更生相談、入浴サービス				(3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		利用者がさまざまな活動や経験を通して、地域社会で生活するための意欲や能力を高める。利用者の健康維持を図るため健康管理の支援や健康相談を行う。				活動指標名 (式)				
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 利用者が自分の持っている能力を十分に発揮し、地域社会において生き生きと生活するための可能性を広げる。				成果指標名 (式)					
						(1) 施設利用者数					
						(2) 延べ通所人数					
						(1) 通所率 = [延べ通所人数 / (入所者数 × 開所日数)] × 100					
						(2)					
区分	単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%
		計画	実績	計画	実績	計画	実績		17年度	年度	
指標	活動指標 (1)	人	39	50	52	52	52	52	52	100.0	
	活動指標 (2)	人	6,943	8,672	11,727	8,673	12,272	12,272	70.7		
	成果指標 (1)	%	77.9	75.4	90.0	71.9	100	100	71.9		
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,818	2,807	3,859	3,471	3,400	特記事項			
	(内)委託費	千円		53	0	25	0	平成17年度の目標値(活動指標)は既存2施設の数値で、平成15年度に開設予定の新規施設は含まれていない。			
	職員数(正規 非常勤)	人	24.36   0.00	31.72   0.00	33.29   0.00	32.54   0.00	33.51   0.00				
	人件費	千円	221,018	287,796	302,107	295,301	304,103				
	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	0				
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + + +	千円	223,836	290,603	305,966	298,772	307,503				
	単位あたりコスト ÷	円	5,739,392	5,812,051	5,883,957	5,745,606	5,913,524				
	財源	千円	0	0	0	0	0				
	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				
国都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0					
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -	千円	223,836	290,603	305,966	298,772	307,503					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	加齢に伴う障害の重度化と家庭における介護者(主に家族)の高齢化によるニーズの多様化が顕著である。また、平成13年度に医療的ケアが必要な利用者の暫定的な受け入れを行い、平成15年度より利用者の受け入れを開始する予定である。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	個々の利用者の状況に即したサービス及び利用時間延長に対する要望が強い。									
	今後の予測	利用者の高齢化、重度化、また医療的ケアが必要な入所希望者の増加など、指導医の確保を含む需要の増加が見込まれる。なお、現2施設の入所者がいずれも定員を満たしており、実施計画において、平成15年度に新規1施設の開設が予定されている。平成15年度実施を目的に、医療的ケアについて検討している。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身体障害者通所施設各種行事等				整理番号	313		枝番号				
所属部課名	保健福祉部障害者施設課	コード	091146		連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	330				
係名	こすもす生活園				上位施策名	NO							
予算事業名	こすもす生活園		コード	32200		障害者の社会参加や就労機会の拡大			33				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 身体障害者福祉法							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則							
	こすもす生活園及びなのはな生活園の利用者、保護者、地域住民等					(3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名 (式)							
	宿泊行事(所外、所内)、こすもす祭り、荻窪小学校地域子育てネットワーク「秋祭り」、社会適応支援					(1) 宿泊行事参加者数 (2) まつり参加者数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名 (式)								
社会経験を積む貴重な機会とするとともに、他者とのコミュニケーションを図り、主体的な行動を取れるようになり、自立心を身につける。					(1) 宿泊行事参加率 (2) 利用者のまつり参加率								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
利用者の生活を充実させるとともに、利用者の経験の幅を広げることにより、主体的な社会参加の可能性を広げる。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		人	42	52	46	39	52	52	75.0			
	活動指標(2)		人	990	1,823	1,200	1,682	1,700	1,700	98.9			
	成果指標(1)		%	75.8	76.2	100.0	75	100	100	75.0			
	成果指標(2)		%	92.3	90.0	100.0	76.9	100.0	100.0	76.9			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,170	1,735	2,655	1,754	2,356	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	77	77	祭り参加者数と社会適応支援参加者数については、単位あたりのコストに反映されていない。 平成17年度の目標値(活動指標)は既存2施設の数値で、平成15年度に開設予定の新規施設は含まれていない。				
	職員数(正規 非常勤)		人	3.41	0.00	3.47	0.00	3.45			0.00	3.39	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	30,939	31,483	31,309	30,764			30,583		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + + +		千円	33,109	33,218	33,964	32,518	32,939					
	単位あたりコスト ÷		円	788,308	638,814	738,342	833,801	633,438					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0		
		国 都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引：一般財源 -		千円	33,109	33,218	33,964	32,518	32,939						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		加齢に伴う体力の低下が顕著であり、一部の利用者には所外宿泊が難しくなっている。障害の程度の差異が大きくなり、所内、所外 2回に分けて実施しているが、目的が絞りにくくなっている。宿泊以外の、社会適応支援を選択する利用者が増加してきている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		無理のない範囲での所内・所外の宿泊行事が望まれている。町会役員、PTA、青少年育成委員会、民生委員などの地域団体に評価されている。										
	今後の予測		社会適応支援、まつりについては、障害者が社会参加し、自己実現を図るために需要は増加する。										